

議事 1

地域医療支援病院の名称承認について

資 料

地域医療支援病院制度の概要

1 趣旨

地域医療支援病院の制度は、医療施設機能の体系化の一環として、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じてかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、かかる病院としてふさわしい構造設備等を有するものについて、知事が地域医療支援病院の名称を承認するものであり、平成9年の医療法改正（平成10年4月1日施行）で制度化されたものである。

2 開設できる者

国（独立行政法人国立病院機構を含む）、都道府県、市町村、社会医療法人、公的医療機関開設者、医療法人、一般社団法人、一般財団法人、学校法人、社会福祉法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、又はエイズ治療拠点病院及び地域がん診療拠点病院としての機能を有し、地域における医療の確保のために必要な支援について相当の実績を有する病院の開設者

3 承認要件

(1) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されており、次のいずれかの場合に該当していること。

ア 紹介率が80%以上であること。

イ 紹介率が65%以上で、かつ、逆紹介率が40%以上であること。

ウ 紹介率が50%以上で、かつ、逆紹介率が70%以上であること。

$$\begin{aligned} \text{紹介率} &= \frac{\text{紹介患者の数}}{\text{初診患者の数}} \times 100 \\ \text{逆紹介率} &= \frac{\text{逆紹介患者の数}}{\text{初診患者の数}} \times 100 \end{aligned}$$

※初診患者の数には、救急患者等の数は含まない。

(2) 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具を、地域の医療従事者の診療、研究又は研修のために利用させるための体制が整備されていること。

(3) 救急医療を提供する能力を有すること。

(4) 地域の医療従事者の資質向上を図るための研修を行わせる能力を有すること。

(5) 厚生労働省令で定める病床数（200床）以上の病床を有すること。

(6) 地域医療支援病院として、必要な次の施設を有し、必要な記録を備えること。
集中治療室、検査施設（化学、細菌、病理）、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、救急用又は患者輸送用自動車、医薬品情報管理室

4 医療審議会の意見

地域医療支援病院の名称承認を行うに当たっては、あらかじめ、県医療審議会
の意見を聴かなければならない。

5 承認状況

全国的には、平成27年3月末日現在で482病院が承認されている。本県で
は、これまで次の13病院を承認している。

	病 院 名	所 在 地	承認年月日
1	埼玉県立小児医療センター	さいたま市	平成10年10月 1日
2	東松山医師会病院	東松山市	平成14年 2月18日
3	北里大学メデイカルセンター	北本市	平成15年 7月29日
4	社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院	狭山市	平成16年 7月28日
5	社会医療法人壮幸会 行田総合病院	行田市	平成16年11月 5日
6	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会栗橋病院	久喜市	平成19年 8月17日
7	深谷赤十字病院	深谷市	平成19年 8月17日
8	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	和光市	平成19年11月 2日
9	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院	川口市	平成20年 8月29日
10	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	熊谷市	平成21年 1月30日
11	さいたま市民医療センター	さいたま市	平成22年 9月 1日
12	さいたま赤十字病院	さいたま市	平成23年 8月29日
13	独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院	所沢市	平成24年 7月31日

地域医療支援病院名称承認申請の概要（上尾中央総合病院）

1 医療機関

- (1) 名称 医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
 (2) 開設者 医療法人社団愛友会 理事長 中村 康彦
 (3) 所在地 埼玉県上尾市柏座1-10-10 (県央保健医療圏)
 (4) 病床数 724床 (一般病床724床)
 (5) 診療科目 内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、皮膚科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科、麻酔科、腎臓内科、腫瘍内科

2 承認要件への該当状況

(1) 開設主体

具体的な承認要件	該当状況	適否
開設主体は、国、都道府県、市町村、社会医療法人、公的医療機関開設者、医療法人、学校法人、社会福祉法人等であること。	開設主体は医療法人である。	○

(2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていること。

具体的な承認要件	該当状況	適否
次のいずれかの場合に該当していること。 ①紹介率が80%以上であること。 ②紹介率が65%以上であり、かつ、逆紹介率が40%以上であること。 ③紹介率が50%以上であり、かつ、逆紹介率が70%以上であること。	平成26年度実績 紹介率：65.3% 逆紹介率：54.1% ②に該当している。	○

(3) 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具を、地域の医療従事者の診療、研究又は研修のために利用させるための体制が整備されていること。

具体的な承認要件	該当状況	適否
医療機関の登録制度（利用医師等登録制度）を設けていること。	登録制度：有り 登録医療機関数：130施設	○

当該病院の開設者と直接関係のない医療機関が、現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。	平成26年度共同利用実績(延べ数) : 816施設 (うち直接関係のない医療機関: 718施設)	○
共同利用のための病床として、必要病床数が確保されていること。	共同利用可能病床: 26床	○

(4) 救急医療を提供する能力を有すること。

具体的な承認要件	該当状況	適否
通常の当直体制の外に重症救急患者の受入れに対応できる医師等医療従事者が確保されていること。	医療従事者の確保状況 医師50名、看護師34名ほか	○
重症救急患者のために優先的に使用できる病床又は専用病床が確保されていること。	優先的に使用できる病床: 16床 専用病床: 22床	○
入院治療を必要とする重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設を有し、24時間使用可能な体制が確保されていること。	設置施設 救急初療室、集中治療室、手術室、放射線室、検査室等 ※全て24時間使用可能	○
地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬送された患者の数が1,000以上であること。	平成26年度患者搬送実績 : 8,978人	○

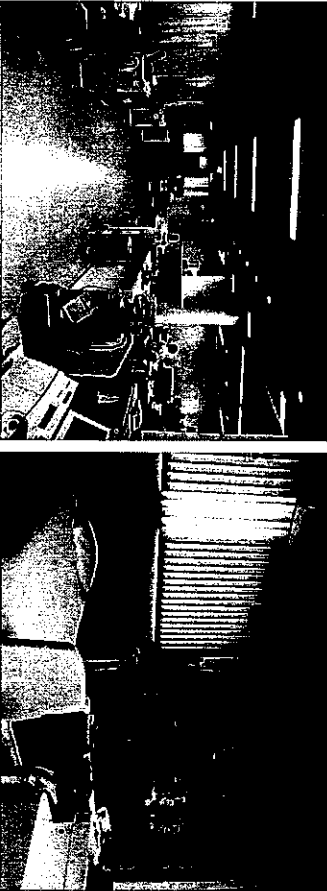
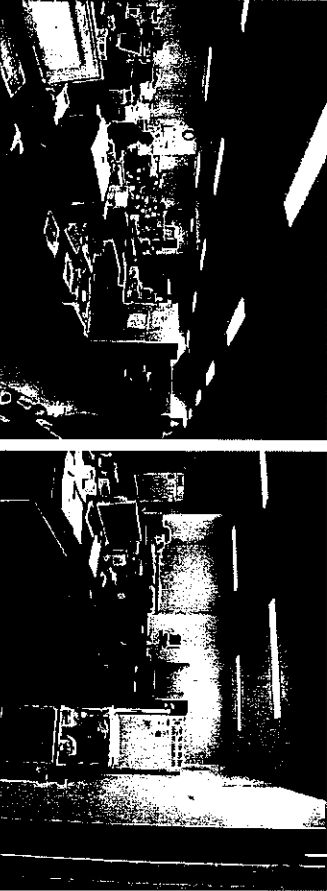


(5) 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有すること。




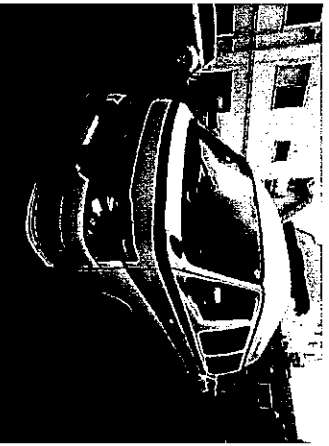
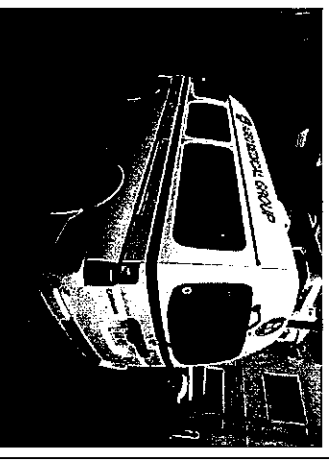
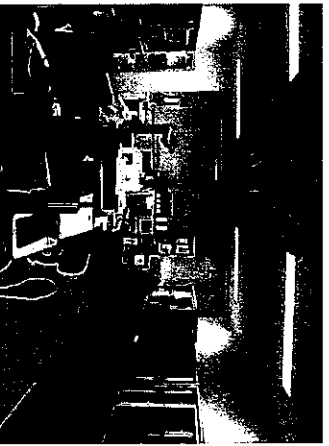
具体的な承認要件	該当状況	適否
病院内の研修全体についての教育責任者及び研修委員会を設置するとともに、地域の医療従事者も対象にした研修を主催していること。	教育責任者及び研修委員会: 有り 平成26年度地域医療従事者向け研修実績: 16回	○
研修の実施のために必要な施設及び設備を有していること。	研修用会議室等4室 ※全てマイク、プロジェクター、スクリーン等設置	○

(6) 厚生労働省令で定める病床数以上の病床を有すること。

具体的な承認要件	該当状況	適否
2000床以上の病床を有していること。	病床数: 一般病床724床	○

(7) 地域医療支援病院として必要な施設を有し、必要な記録を備えること。

必要施設等	該当状況	適否
集中治療室	 <p>床面積 (987.44㎡)、病床数 (22床)</p>	○
化学、細菌及び病理の検査施設	 <p>床面積 (化学及び細菌検査室：541.82㎡、病理検査室：155.06㎡)</p>	○
病理解剖室	 <p>床面積 (59.42㎡)</p>	○
研究室	 <p>床面積 (209.34㎡)</p>	○

講義室			○
図書室			○
患者輸送用自動車			○
医薬品情報管理室		<p>専用室、床面積 (81.37㎡)</p>	○
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録	<p>診療に関する諸記録は病院作成の「診療記録取扱規定」に基づき、各種分類して保管している。 病院の管理及び運営に関する諸記録は、各担当課において適切に保管している。</p>	○	

(8) その他 (地域医療支援病院の管理者の行うべき事項)

必要事項	該当状況	適否
<p>患者を紹介しようとする医師等に対して、診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録を閲覧させること。</p>	<p>病院作成の「診療記録開示に関する規定」に基づき、診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録を閲覧できるようにしている。</p>	○
<p>患者からの相談に適切に応じる体制を確保すること。</p>	<p>患者相談のための相談室を設置しており、患者相談を行う者として、医療ソーシャルワーカー11名と看護師2名を配置している。 平成26年度患者相談実績：24, 044件</p>	○
<p>紹介外来制を原則とすること。</p>	<p>①紹介状を持たない患者に対しては選定療養費(5,400円)を徴収しており、この旨の掲示とお知らせ文書を作成し、初診の窓口にて説明を行っている。</p> <p>②紹介患者の受診がスムーズに進むよう初診窓口を分割して紹介患者専用窓口を設置するとともに、専任の係員を配置している。</p> <p>③紹介患者を優先的に診療するため、診察予約枠を紹介予約とその他で分けている。また、当日の予約外紹介患者受診も優先的に診察が行えるよう努めている。</p>	○

医療法関係条文

○ 医療法

第4条 国、都道府県、市町村、第42条の2第1項に規定する社会医療法人その他厚生労働大臣の定める者の開設する病院であつて、地域における医療の確保のために必要な支援に関する次に掲げる要件に該当するものは、その所在地の都道府県知事の承認を得て地域医療支援病院と称することができる。

- 一 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供し、かつ、当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具を、当該病院に勤務しない医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者（以下単に「医療従事者」という。）の診療、研究又は研修のために利用させるための体制が整備されていること。
- 二 救急医療を提供する能力を有すること。
- 三 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有すること。
- 四 厚生労働省令で定める数以上の患者を入院させるための施設を有すること。
- 五 第21条第1項第2号から第8号まで及び第10号から第12号まで並びに第22条第1号及び第4号から第9号までに規定する施設を有すること。
- 六 その施設の構造設備が第21条第1項及び第22条の規定に基づき厚生労働省令並びに同項の規定に基づき都道府県の条例で定める要件に適合するものであること。
- 2 都道府県知事は、前項の承認をするに当たつては、あらかじめ、都道府県医療審議会の意見を聴かなければならない。
- 3 地域医療支援病院でないものは、これに地域医療支援病院又はこれに紛らわしい名称を付けてはならない。

第12条の2 地域医療支援病院の開設者は、厚生労働省令の定めるところにより、業務に関する報告書を都道府県知事に提出しなければならない。

2 都道府県知事は、厚生労働省令で定めるところにより、前項の報告書の内容を公表しなければならない。

第16条の2 地域医療支援病院の管理者は、厚生労働省令の定めるところにより、次に掲げる事項を行わなければならない。

- 一 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具を、当該病院に勤務しない医療従事者の診療、研究又は研修のために利用させること。
- 二 救急医療を提供すること。
- 三 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせること。
- 四 第22条第2号及び第3号に掲げる諸記録を体系的に管理すること。
- 五 当該地域医療支援病院に患者を紹介しようとする医師その他厚生労働省令で定める者から第22条第2号又は第3号に掲げる諸記録の閲覧を求められたときは、正当の理由がある場合を除き、当該諸記録のうち患者の秘密を害するおそれのないものとして厚生労働省令で定めるものを閲覧させること。
- 六 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し、医療を提供すること。
- 七 その他厚生労働省令で定める事項
- 2 地域医療支援病院の管理者は、居宅等における医療を提供する医療提供施設、介護保険法第8条第4項に規定する訪問看護を行う同法第41条第1項に規定する指定居宅サービス事業者その他の居宅等における医療を提供する者（以下この項において「居宅等医療提供施設等」という。）における連携の緊密化のための支援、医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する居宅等医療提供施設等に関する情報の提供その他の居宅等医療提供施設等による居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援を行わなければならない。

第22条 地域医療支援病院は、前条第1項(第9号を除く。)に定めるもののほか、厚生労働省令の定めるところにより、次に掲げる施設を有し、かつ、記録を備えて置かなければならない。

- 一 集中治療室
- 二 診療に関する諸記録
- 三 病院の管理及び運営に関する諸記録
- 四 化学、細菌及び病理の検査施設
- 五 病理解剖室
- 六 研究室
- 七 講義室
- 八 図書室
- 九 その他厚生労働省令で定める施設

○ 医療法施行規則

第6条 法第4条第1項の規定により地域医療支援病院と称することについての承認を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を、病院所在地の都道府県知事に提出しなければならない。

- 一 開設者の住所及び氏名（法人であるときは、その名称及び主たる事務所の所在地）
- 二 名称
- 三 所在の場所
- 四 病床数
- 五 法第22条第1号及び第4号から第8号までに掲げる施設及び第22条に掲げる施設の構造設備

2 前項の申請書には、次に掲げる書類を添えなければならない。

- 一 他の病院又は診療所から紹介された患者（以下「紹介患者」という。）に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類
- 二 当該病院において、共同利用（病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具を当該病院に勤務しない医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者の診療、研究又は研修のために利用させることをいう。以下同じ。）のための体制が整備されていることを証する書類
- 三 救急医療を提供する能力を有することを証する書類
- 四 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することを証する書類
- 五 診療に関する諸記録の管理方法に関する書類
- 六 病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類
- 七 診療に関する諸記録の閲覧方法に関する書類
- 八 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類
- 九 第九条の十九第一項に規定する委員会の委員の就任承諾書及び履歴書

第6条の2 法第4条第1項第4号に規定する厚生労働省令で定める数は200とする。ただし、都道府県知事が、地域における医療の確保のために必要であると認めるときは、この限りでない。

第9条の2 地域医療支援病院の開設者は、次に掲げる事項を記載した業務に関する報告書を都道府県知事に提出しなければならない。

- 一 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 二 共同利用の実績
- 三 救急医療の提供の実績
- 四 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 五 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 六 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 七 第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績
- 八 患者相談の実績

2 前項の報告書は、毎年10月5日までに都道府県知事に提出するものとする。

3 都道府県知事は、法第12条の2第2項の規定により、第一項の報告書の内容をインターネットの利用その他適切な方法により公表するものとする。

第9条の16 地域医療支援病院の管理者は、次に掲げるところにより、法第16条の2第1項

第1号から第6号に掲げる事項を行わなければならない。

- 一 次に掲げるところにより、共同利用を実施すること。
- イ 共同利用の円滑な実施のための体制を確保すること。

- ロ 共同利用に係る医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者と協議の上、共同利用の対象となる当該病院の建物、設備、器械又は器具の範囲をあらかじめ定めること。
- ハ 共同利用の対象となる当該病院の建物、設備、器械又は器具の範囲その他の共同利用に関する情報を、当該地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者に対し提供すること。
- ニ 共同利用のための専用の病床を常に確保すること。
- 三 次に掲げるところにより、救急医療を提供すること。
 - イ 重症の救急患者に対し医療を提供する体制を常に確保すること。
 - ロ 他の病院、診療所等からの救急患者を円滑に受け入れる体制を確保すること。
- 三 地域の医療従事者の資質の向上を図るために、これらの者に対する生涯教育その他の研修を適切に行わせること。
- 四 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理に関する責任者及び担当者を定め、諸記録を適切に分類して管理すること。
- 五 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧に関する責任者、担当者及び閲覧の求めに応じる場所を定め、当該場所を見やすいよう掲示すること。
- 六 次に掲げるところにより、紹介患者に対し、医療を提供すること。
 - イ その管理する病院における医療の提供は、原則として紹介患者に対するものであること。
 - ロ 必要な医療を提供した紹介患者に対し、その病状に応じて、当該紹介を行った医療機関その他の適切な医療機関を紹介すること。

第9条の17 法第16条の2第1項第5号に規定する厚生労働省令で定める者は、地方公共団体及び当該地域医療支援病院に患者を紹介しようとする歯科医師とする。

第9条の18 法第16条の2第1項第5号に規定する厚生労働省令で定めるものは、共同利用の実績、救急医療の提供の実績、地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績、閲覧実績並びに紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿とする。

第9条の19 法第16条の2第1項第7号に規定する厚生労働省令で定める事項は、当該病院に勤務しない学識経験者等をもつて主として構成される委員会を当該病院内に設置すること及び当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制を確保することとする。

2 前項の規定により設置される委員会は、地域における医療の確保のために必要な支援に係る業務に関し、当該業務が適切に行われるために必要な事項を審議し、必要に応じて当該病院の管理者に意見を述べるものとする。

第21条の5 法第22条第1号から第8号までの規定による施設及び記録は、次のとおりとする。

- 一 集中治療室、化学、細菌及び病理の検査施設並びに病理解剖室は、当該病院の実状に応じて適当な構造設備を有していなければならない。
- 二 診療に関する諸記録は、過去2年間の病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書とする。
- 三 病院の管理及び運営に関する諸記録は、共同利用の実績、救急医療の提供の実績、地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績、閲覧実績並びに紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績を明らかにする帳簿とする。

第22条 法第22条第9号の規定による施設は、救急用又は患者輸送用自動車及び医薬品情報管理室（医薬品に関する情報の収集、分類、評価及び提供を行うための室をいう。第二十二条の四において同じ。）とする。

地域医療支援病院位置図

平成27年11月1日
保健医療部医療整備課



承認済の地域医療支援病院の状況（平成25年度実績）

医療圏	病院名	病床数	紹介率	逆紹介率	登録医療 機関数	共同利用 病床数	救急搬送 受入実績	研修実績
南 部	済生会川口総合病院	403	90.8%	65.7%	429	5	3,689	46
南西部	国立病院機構埼玉病院	350	77.8%	118.6%	187	5	3,324	10
さいたま	埼玉県立小児医療センター	300	94.7%	30.7%	53	8	1,126	17
	さいたま市民医療センター	340	97.4%	103.5%	600	10	5,286	10
	さいたま赤十字病院	605	88.1%	73.1%	405	5	7,380	21
県 央	北里大学メディカルセンター	372	70.6%	40.7%	146	5	2,801	13
川越比企	東松山医師会病院	261	77.4%	40.1%	51	199	695	4
西 部	埼玉石心会病院	349	85.8%	93.4%	248	5	6,949	12
	国立病院機構西埼玉中央病院	325	67.3%	60.4%	124	5	1,249	1
利 根	行田総合病院	504	81.7%	43.4%	88	5	2,991	12
	済生会栗橋病院	329	69.3%	113.6%	123	5	2,571	78
北 部	深谷赤十字病院	506	65.0%	63.1%	411	10	3,183	19
	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	319	90.3%	63.1%	183	6	1,185	13

【参考】今回諮問する病院の状況

県 央	上尾中央総合病院	724	65.3%	54.1%	130	26	8,978	16
-----	----------	-----	-------	-------	-----	----	-------	----

議事 2

地域医療構想の策定に向けた

各圏域の医療需要推計等について

資 料

1 入院患者の流出入推計

資料1

- ・高度急性期から回復期にかけて幅広く東京都、群馬県など近隣都県に流出している。
- ・一方、慢性期については東京都を中心に流入している。
- ・県全体では現状で1, 816人/日の流出超過となっている。

2 患者の流出入の現状（圏域別）

資料2

- ・川越比企と西部が流入超過。
- ・川越比企は主に県内から、西部は主に東京都から流入。
- ・他の圏域は流出超過、他の医療圏への流出割合が高い地域は南西部、県央など

3 医療需要推計（圏域別）

資料3

- ・2025年においても現在と同程度の流出入があることを前提に入院及び在宅医療患者数を推計
- ・県全体での総患者数は約1.5倍増。
- ・2013年と2025年との比較では全ての圏域で患者が増加。
- ・北部、秩父の慢性期の減要因は慢性期患者の一部を在宅に移行することが要因と推定。
- ・県南部で比較的增加率が高い傾向。
- ・流出入を見込まない場合の推計値は参考資料P18参照

4 主な疾患における医療需要推計

資料4

- ・疾患別データについては療養病床など一部のデータがカウントされていない。
- ・心筋梗塞、脳卒中など救急対応が求められる疾患への体制整備が急務。
- ・各圏域での傾向に大きな差異はない。

5 各二次医療圏における必要病床数の現状

資料5

- ・病床機能報告制度により各病院が病床単位で高度急性期～慢性期の区分を報告しているが、定性的な基準により区分されているため現時点では必ずしも実態が正しく反映されていない。(参考資料P 1 9 参照)

- ・便宜的に一般病床・療養病床に区分して将来見込まれる病床の過不足を算出した。

病床の大幅な不足が見込まれる圏域

東部、川越比企

高度急性期～回復期の不足が見込まれる圏域

南部、県央、西部

慢性期の不足が見込まれる圏域

南西部、さいたま、利根

病床が充足されている圏域

秩父

6 各二次医療圏における在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、

在宅時医学総合管理料の届出医療機関数

資料6

- ・人口10万人当たりの施設数ではさいたま(15.92)と南西部(6.13)では約2.5倍の開きがある。

7 各圏域における検討の進め方

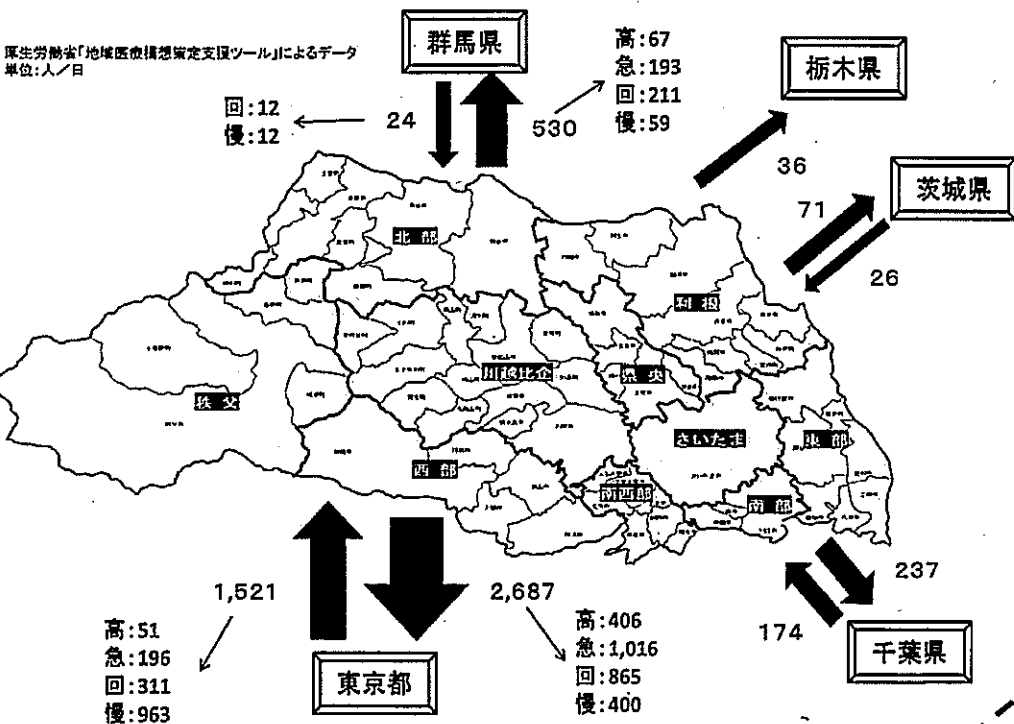
資料7

- ・各圏域に設置している「地域保健医療推進協議会」で検討を進める。
- ・幅広く意見を聴くため委員を追加。
- ・「病床の整備」、「医療機能分化・連携」、「在宅医療」などの主な論点を提示する。

入院患者の流出入推計【埼玉県⇄近隣都県】

資料1

厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」によるデータ
単位:人/日



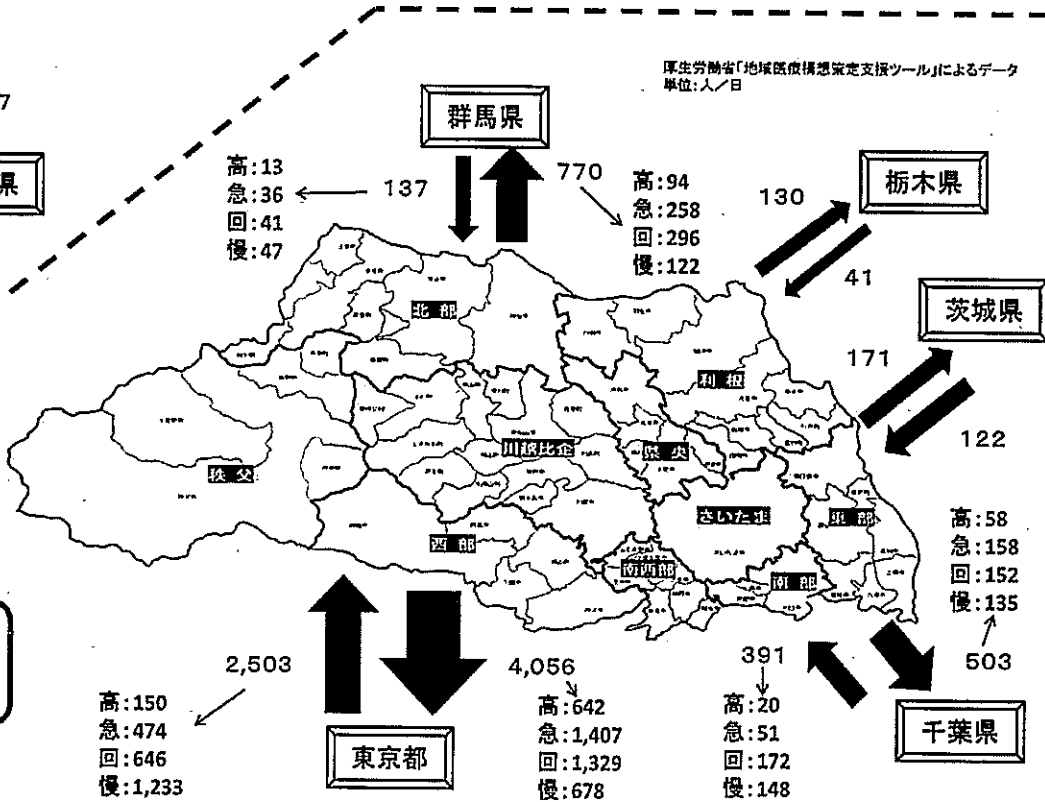
2013年

県全体: 1,816人/日の流出超過

2025年

現状と同じ割合で流出入があることを前提とした試算。
県全体: 2,435人/日の流出超過

厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」によるデータ
単位:人/日



厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」によるデータ
単位:人/日

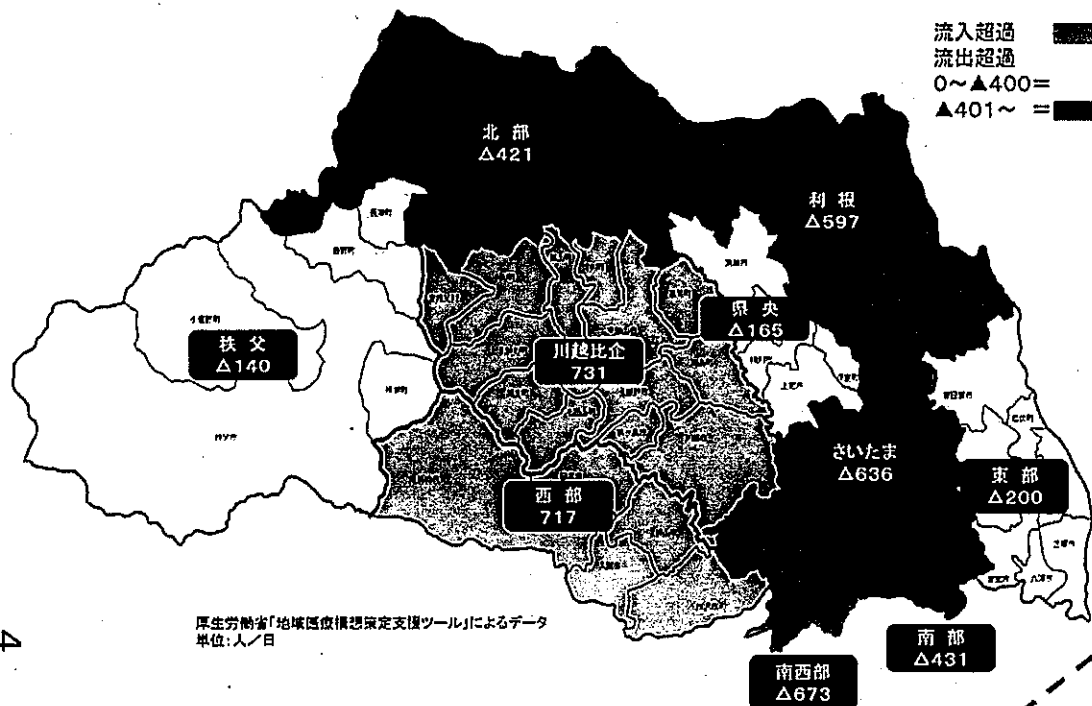
厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」によるデータ
単位:人/日

患者の流出入の状況【圏域別】

資料2-1

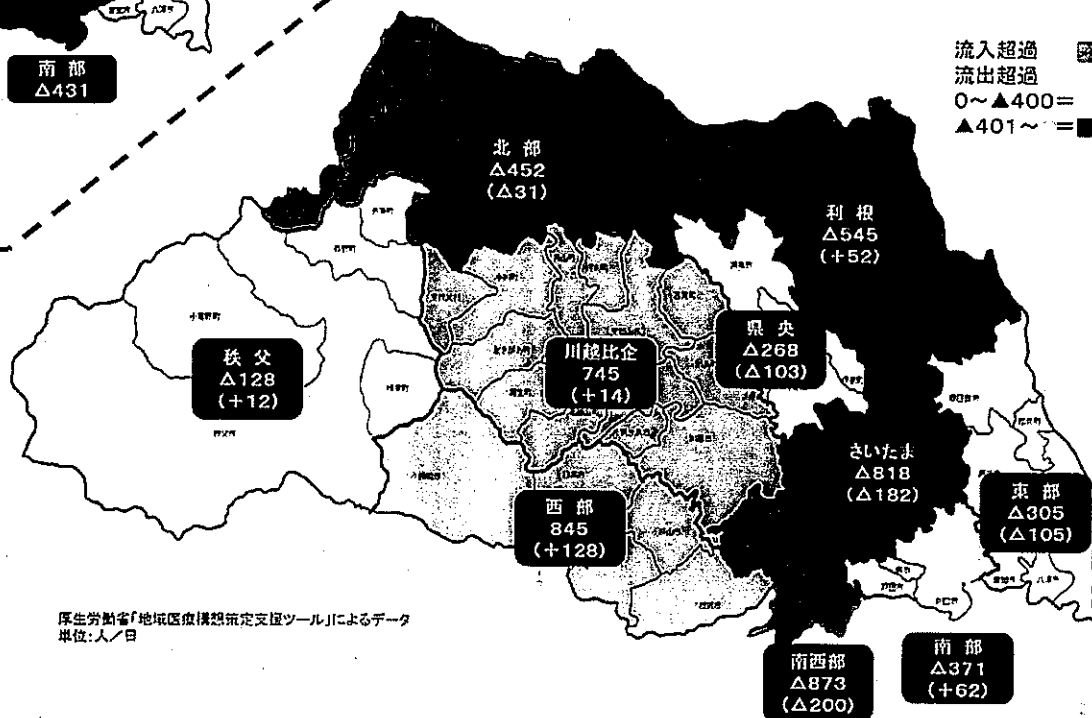
流入超過
流出超過
0~▲400=
▲401~ =

2013年



流入超過
流出超過
0~▲400=
▲401~ =

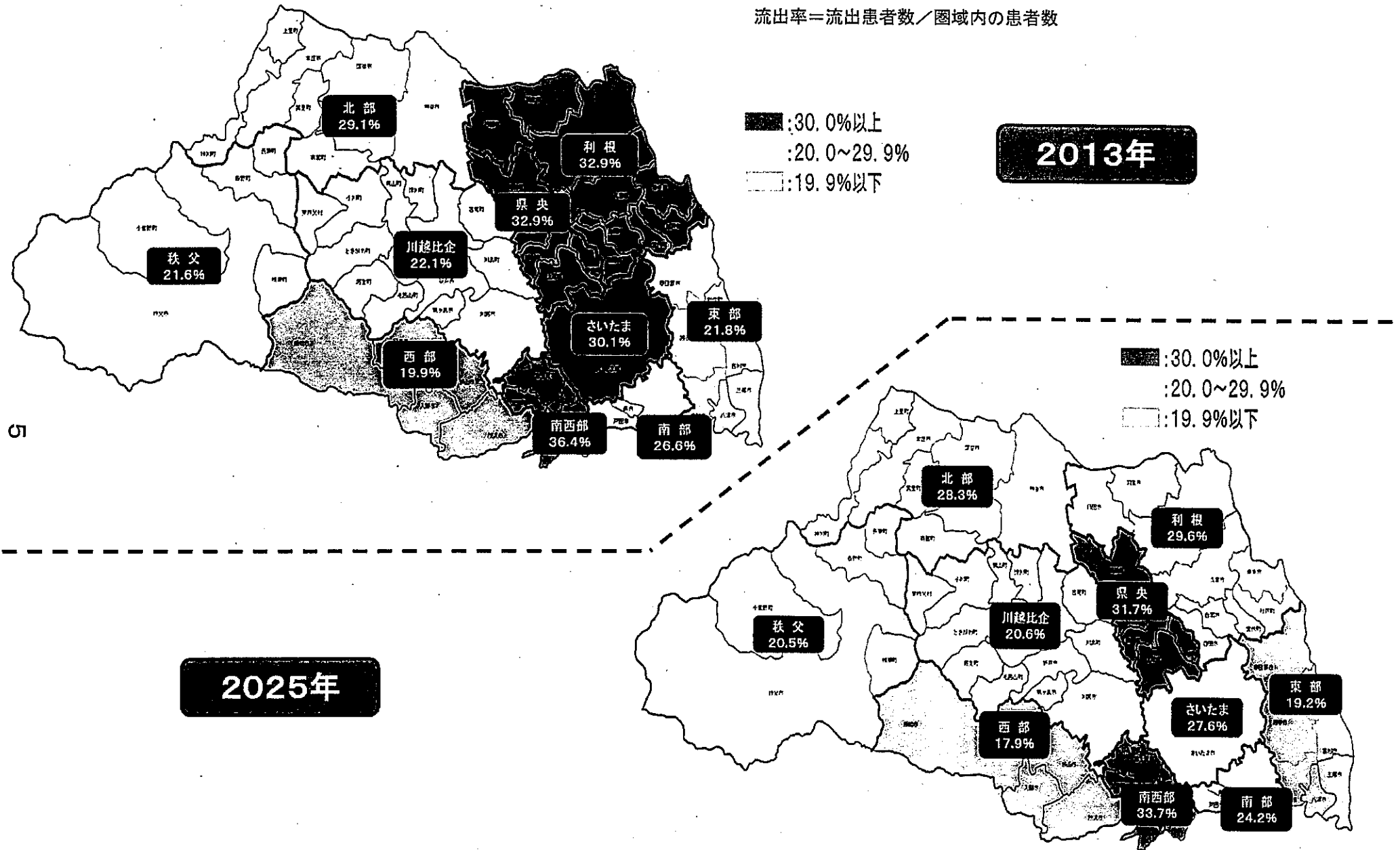
2025年



患者の流出入の状況【流出率・圏域別】

資料2-2

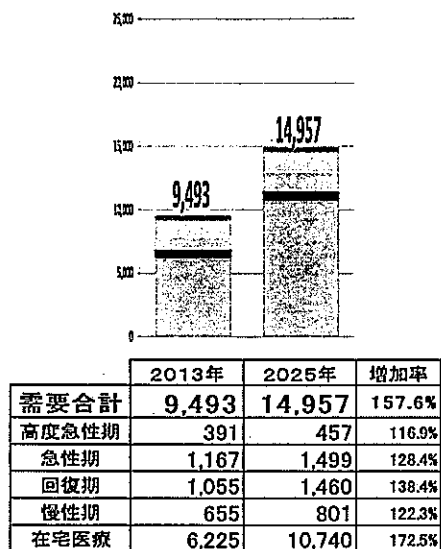
流出率＝流出患者数／圏域内の患者数



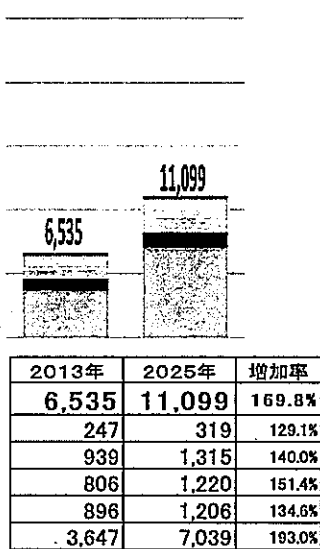
医療需要推計(圏域別)

資料3

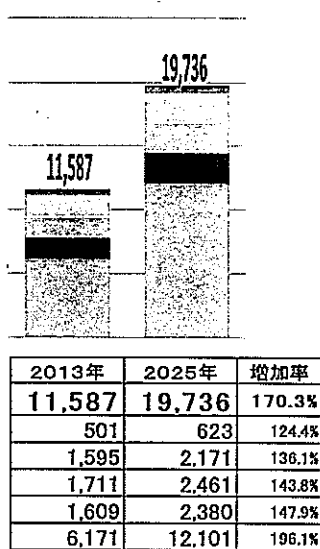
単位: 人/日



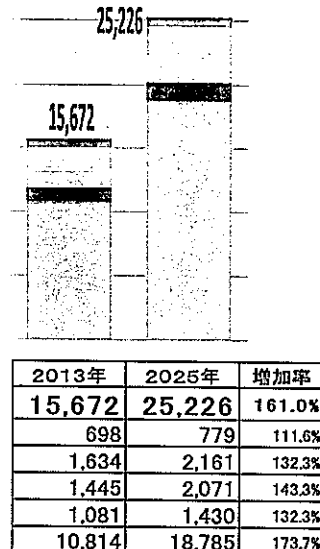
南部



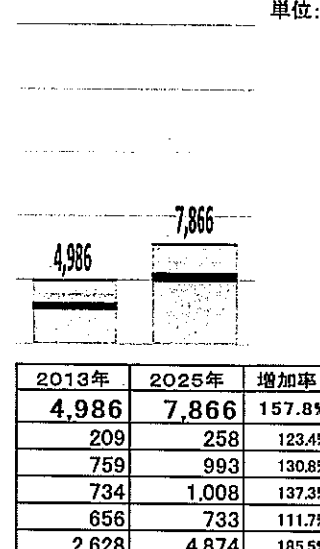
南西部



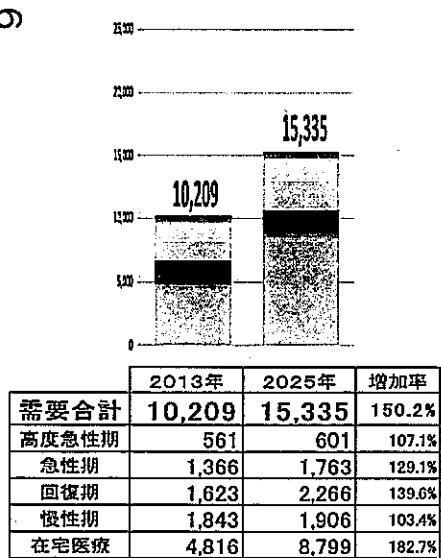
東部



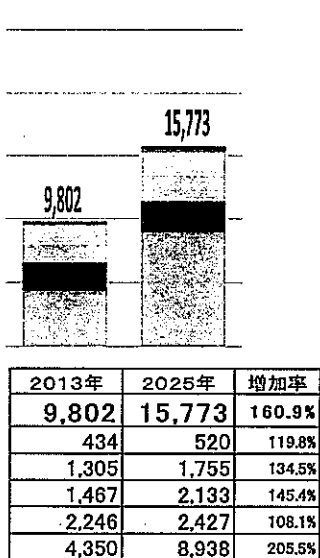
さいたま



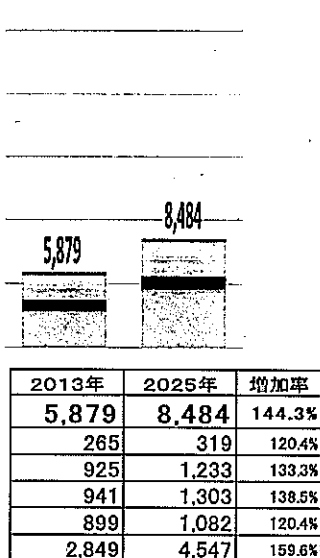
県央



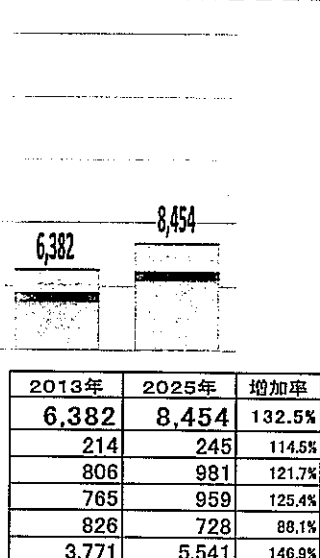
川越比企



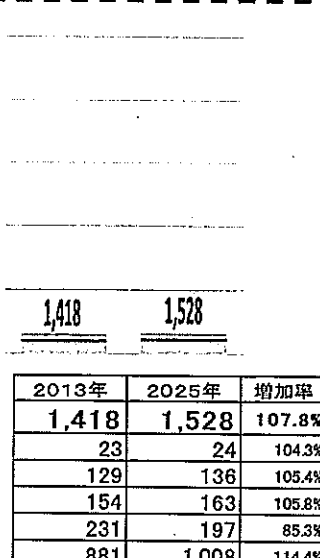
西部



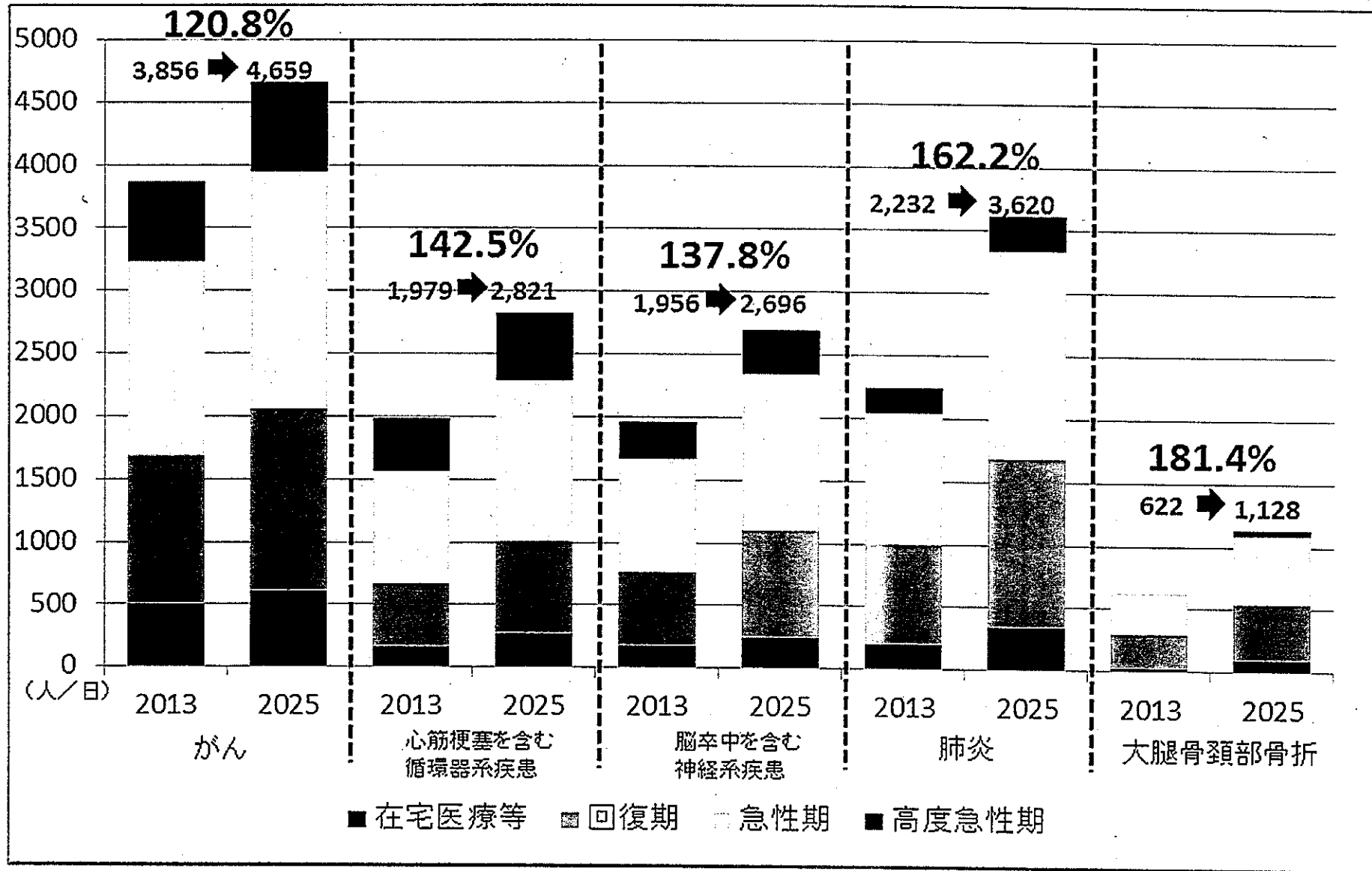
利根



北部



秩父



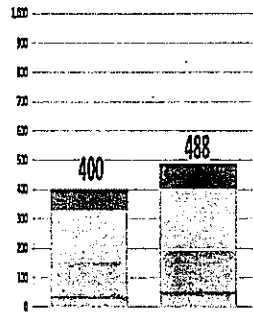
厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」によるデータ
 ※療養病床のデータが含まれていないため、慢性期の需要が推計されない

医療需要推計(疾患別)【がん】

資料4-2

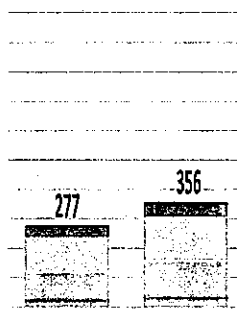
※療養病床のデータが含まれていないため、慢性期の需要が推計されない

単位:人/日



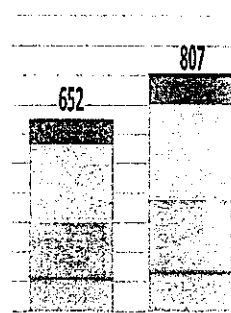
	2013年	2025年	増加率
需要合計	400	488	122.0%
高度急性期	73	87	119.2%
急性期	169	205	121.3%
回復期	120	148	123.3%
慢性期	—	—	—
在宅医療	38	48	126.3%

南部



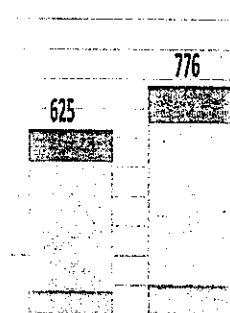
	2013年	2025年	増加率
需要合計	277	356	128.5%
高度急性期	41	51	124.4%
急性期	116	150	129.3%
回復期	94	122	129.8%
慢性期	—	—	—
在宅医療	26	33	126.9%

南西部



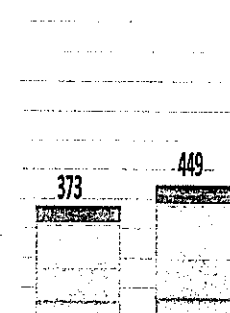
	2013年	2025年	増加率
需要合計	652	807	123.8%
高度急性期	90	106	117.8%
急性期	258	320	124.0%
回復期	191	244	127.7%
慢性期	—	—	—
在宅医療	113	137	121.2%

東部



	2013年	2025年	増加率
需要合計	625	776	124.2%
高度急性期	110	127	115.5%
急性期	245	307	125.3%
回復期	192	243	126.6%
慢性期	—	—	—
在宅医療	78	99	126.9%

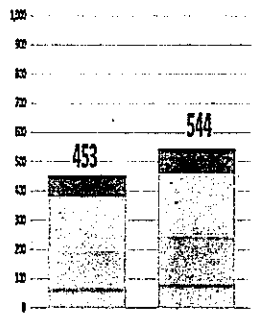
さいたま



	2013年	2025年	増加率
需要合計	373	449	120.4%
高度急性期	55	66	120.0%
急性期	148	180	121.6%
回復期	119	142	119.3%
慢性期	—	—	—
在宅医療	51	61	119.6%

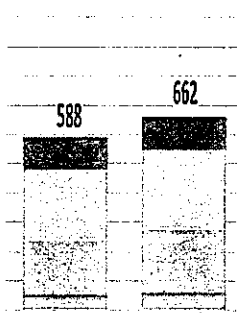
県央

00



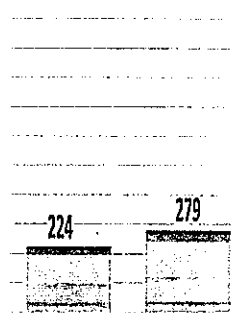
	2013年	2025年	増加率
需要合計	453	544	120.1%
高度急性期	75	85	113.3%
急性期	177	212	119.8%
回復期	137	168	122.6%
慢性期	—	—	—
在宅医療	64	79	123.4%

川越比企



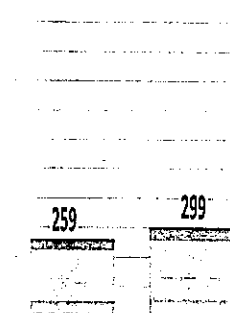
	2013年	2025年	増加率
需要合計	588	662	112.6%
高度急性期	110	117	106.4%
急性期	238	267	112.2%
回復期	191	219	114.7%
慢性期	—	—	—
在宅医療	49	59	120.4%

西部



	2013年	2025年	増加率
需要合計	224	279	124.6%
高度急性期	31	38	122.6%
急性期	90	114	126.7%
回復期	74	91	123.0%
慢性期	—	—	—
在宅医療	29	36	124.1%

利根



	2013年	2025年	増加率
需要合計	259	299	115.4%
高度急性期	39	43	110.3%
急性期	101	117	115.8%
回復期	71	84	118.3%
慢性期	—	—	—
在宅医療	48	55	114.6%

北部

「*」は10未満につき、非公表

	2013年	2025年	増加率
需要合計	*	*	
高度急性期	*	*	
急性期	*	*	
回復期	*	*	
慢性期	—	—	—
在宅医療	*	*	

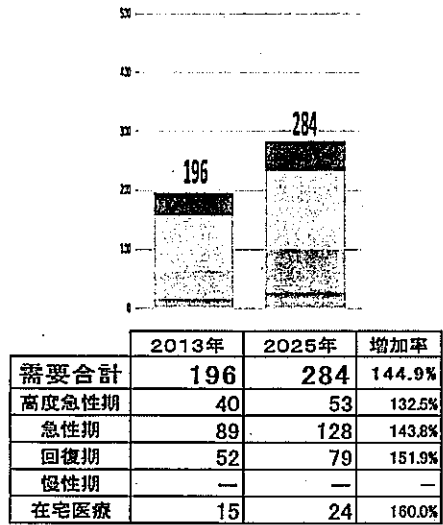
秩父

医療需要推計(疾患別)【心筋梗塞を含む循環器系疾患】

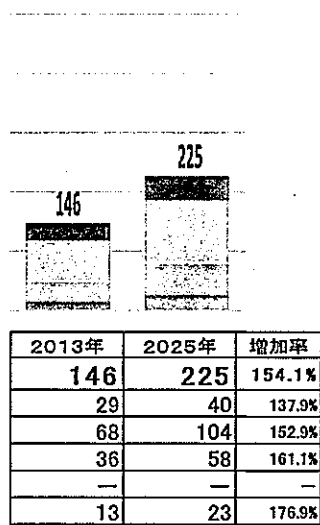
資料4-3

※療養病床のデータが含まれていないため、慢性期の需要が推計されない

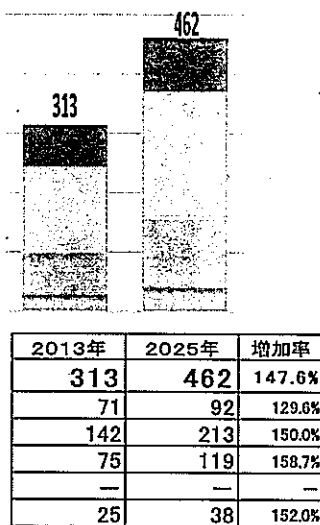
単位:人/日



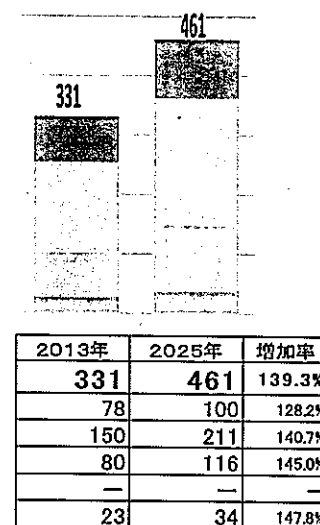
南部



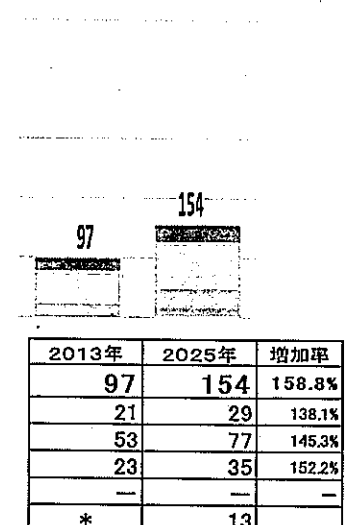
南西部



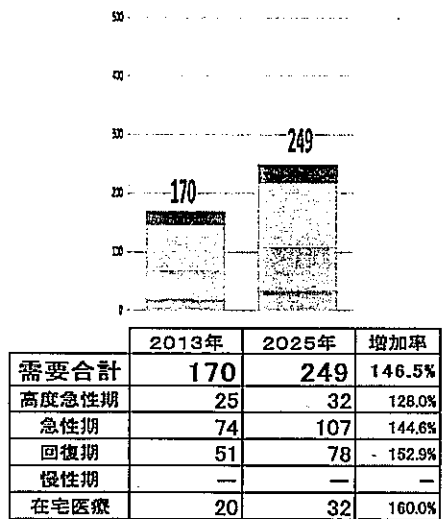
東部



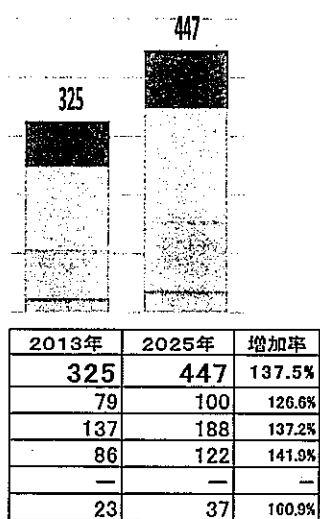
さいたま



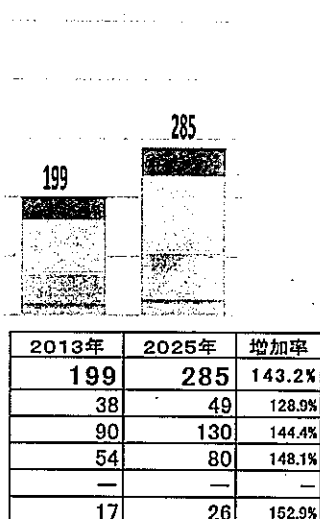
県央



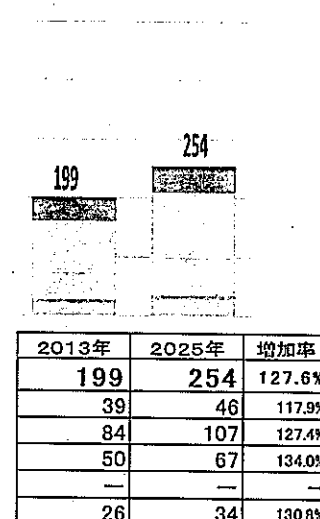
川越比企



西部



利根



北部



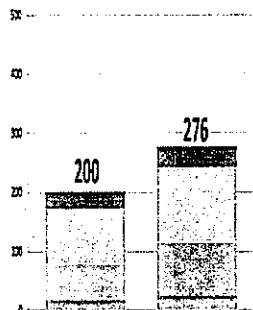
秩父

医療需要推計(疾患別)【脳卒中を含む神経系疾患】

資料4-4

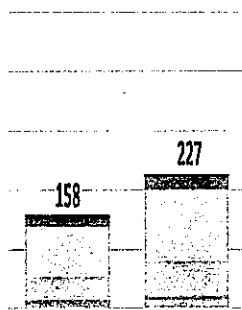
※療養病床のデータが含まれていないため、慢性期の需要が推計されない

単位:人/日



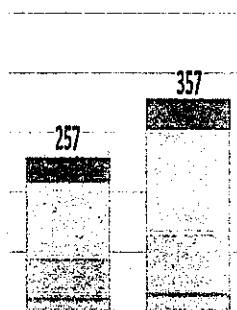
	2013年	2025年	増加率
需要合計	200	276	138.0%
高度急性期	28	35	125.0%
急性期	93	125	134.4%
回復期	63	93	147.6%
慢性期	—	—	—
在宅医療	16	23	143.8%

南部



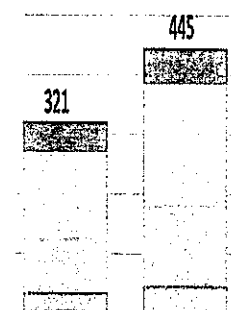
	2013年	2025年	増加率
需要合計	158	227	143.7%
高度急性期	21	28	133.3%
急性期	81	117	144.4%
回復期	43	63	146.5%
慢性期	—	—	—
在宅医療	13	19	146.2%

南西部



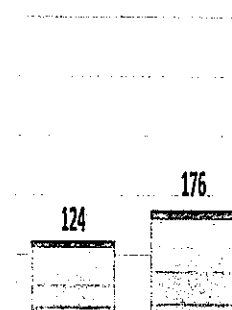
	2013年	2025年	増加率
需要合計	257	357	138.9%
高度急性期	43	54	125.6%
急性期	123	172	139.8%
回復期	71	102	143.7%
慢性期	—	—	—
在宅医療	20	29	145.0%

東部



	2013年	2025年	増加率
需要合計	321	445	138.6%
高度急性期	52	62	119.2%
急性期	141	198	140.4%
回復期	96	140	145.8%
慢性期	—	—	—
在宅医療	32	45	140.6%

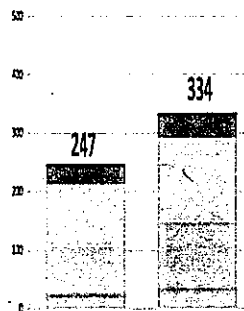
さいたま



	2013年	2025年	増加率
需要合計	124	176	141.9%
高度急性期	14	18	128.6%
急性期	58	82	141.4%
回復期	41	60	146.3%
慢性期	—	—	—
在宅医療	11	16	145.5%

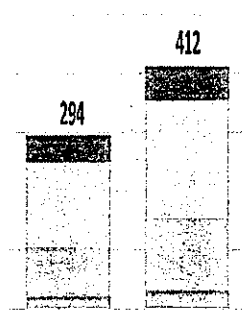
県央

10



	2013年	2025年	増加率
需要合計	247	334	135.2%
高度急性期	36	43	119.4%
急性期	104	141	135.6%
回復期	83	116	139.8%
慢性期	—	—	—
在宅医療	24	34	141.7%

川越比企



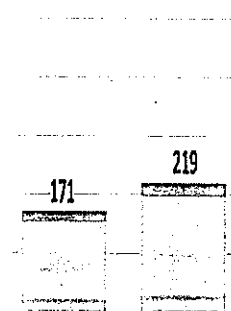
	2013年	2025年	増加率
需要合計	294	412	140.1%
高度急性期	47	59	125.5%
急性期	140	197	140.7%
回復期	88	128	145.5%
慢性期	—	—	—
在宅医療	19	28	147.4%

西部



	2013年	2025年	増加率
需要合計	186	249	133.9%
高度急性期	25	30	120.0%
急性期	85	113	132.9%
回復期	60	84	140.0%
慢性期	—	—	—
在宅医療	16	22	137.5%

利根



	2013年	2025年	増加率
需要合計	171	219	128.1%
高度急性期	19	23	121.1%
急性期	75	94	125.3%
回復期	57	76	133.3%
慢性期	—	—	—
在宅医療	20	26	130.0%

北部

「*」は10未満につき、非公表

	2013年	2025年	増加率
需要合計	*	*	
高度急性期	*	*	
急性期	*	*	
回復期	*	*	
慢性期	—	—	—
在宅医療	*	*	

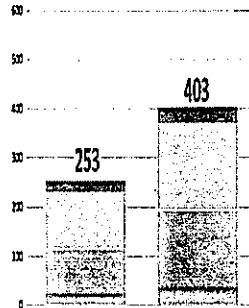
秩父

医療需要推計(疾患別)【肺炎】

資料4-5

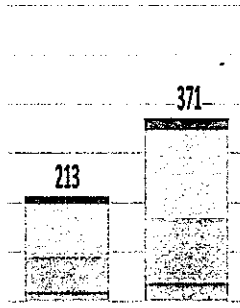
※療養病床のデータが含まれていないため、慢性期の需要が推計されない

単位:人/日



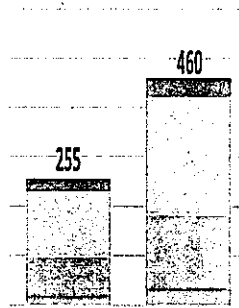
	2013年	2025年	増加率
需要合計	253	403	159.3%
高度急性期	23	32	139.1%
急性期	114	177	155.3%
回復期	94	158	168.1%
慢性期	—	—	—
在宅医療	22	36	163.6%

南部



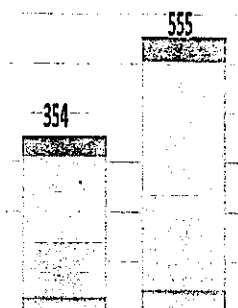
	2013年	2025年	増加率
需要合計	213	371	174.2%
高度急性期	17	25	147.1%
急性期	103	174	168.9%
回復期	74	136	183.8%
慢性期	—	—	—
在宅医療	19	36	189.5%

南西部



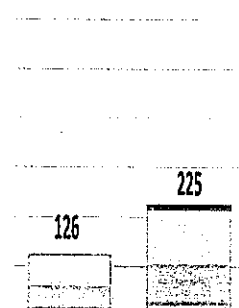
	2013年	2025年	増加率
需要合計	255	460	180.4%
高度急性期	26	40	153.8%
急性期	131	236	180.2%
回復期	80	150	187.5%
慢性期	—	—	—
在宅医療	18	34	188.9%

東部



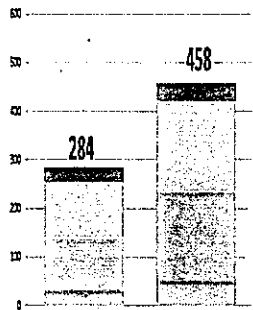
	2013年	2025年	増加率
需要合計	354	555	156.8%
高度急性期	43	52	120.9%
急性期	168	262	156.0%
回復期	118	200	169.5%
慢性期	—	—	—
在宅医療	25	41	164.0%

さいたま



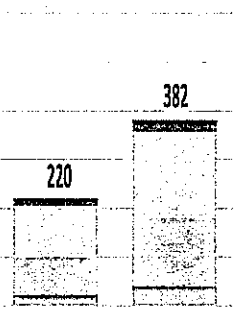
	2013年	2025年	増加率
需要合計	126	225	178.6%
高度急性期	*	14	—
急性期	64	104	162.5%
回復期	47	81	172.3%
慢性期	—	—	—
在宅医療	15	26	173.3%

県央



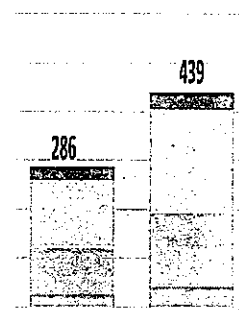
	2013年	2025年	増加率
需要合計	284	458	161.3%
高度急性期	32	38	118.8%
急性期	113	185	163.7%
回復期	109	185	169.7%
慢性期	—	—	—
在宅医療	30	50	166.7%

川越比企



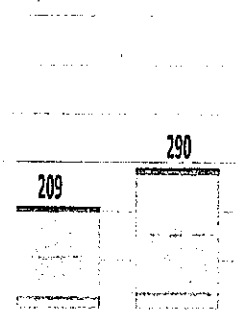
	2013年	2025年	増加率
需要合計	220	382	173.6%
高度急性期	16	26	162.5%
急性期	102	173	169.6%
回復期	81	144	177.8%
慢性期	—	—	—
在宅医療	21	39	185.7%

西部



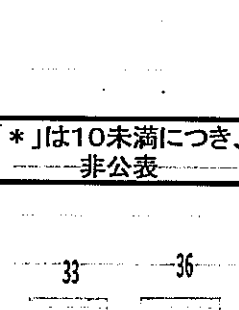
	2013年	2025年	増加率
需要合計	286	439	153.5%
高度急性期	29	35	120.7%
急性期	134	209	156.0%
回復期	97	154	158.8%
慢性期	—	—	—
在宅医療	26	41	157.7%

利根



	2013年	2025年	増加率
需要合計	209	290	138.8%
高度急性期	13	17	130.8%
急性期	85	116	136.5%
回復期	87	123	141.4%
慢性期	—	—	—
在宅医療	24	34	141.7%

北部



	2013年	2025年	増加率
需要合計	33	36	109.1%
高度急性期	*	*	—
急性期	18	19	105.6%
回復期	15	17	113.3%
慢性期	—	—	—
在宅医療	*	*	—

秩父

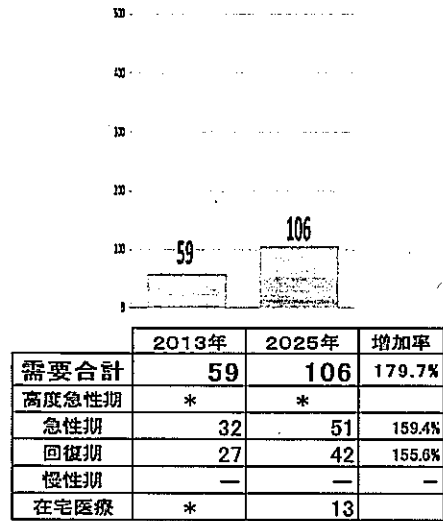
「*」は10未満につき、非公表

医療需要推計(疾患別)【大腿骨頸部骨折】

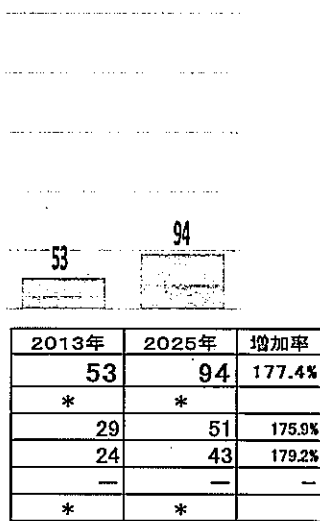
資料4-6

※療養病床のデータが含まれていないため、慢性期の需要が推計されない

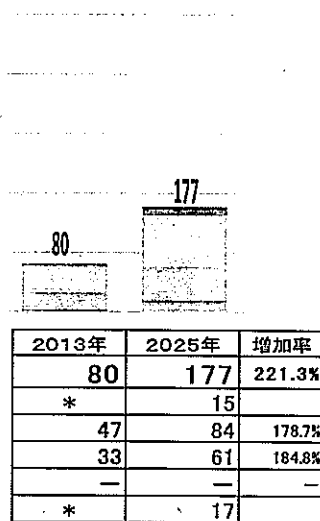
単位:人/日



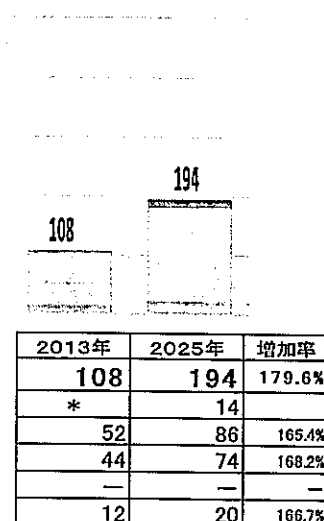
南部



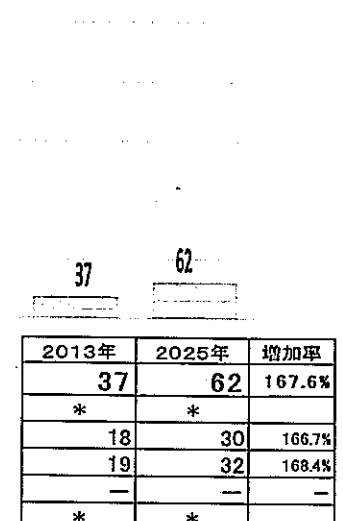
南西部



東部

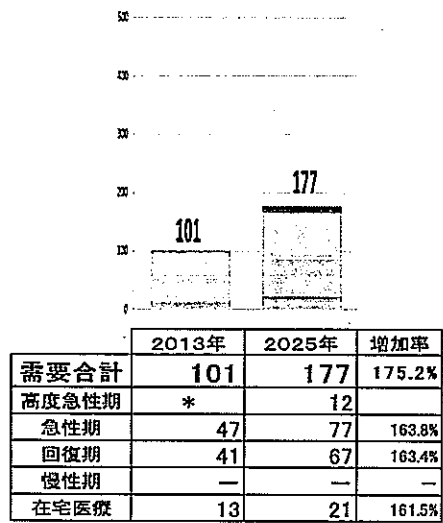


さいたま

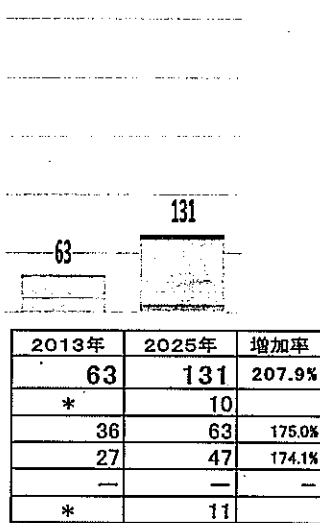


県央

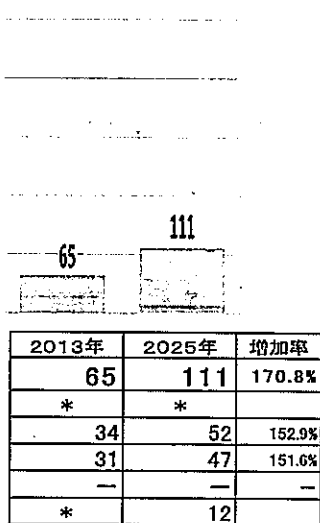
12



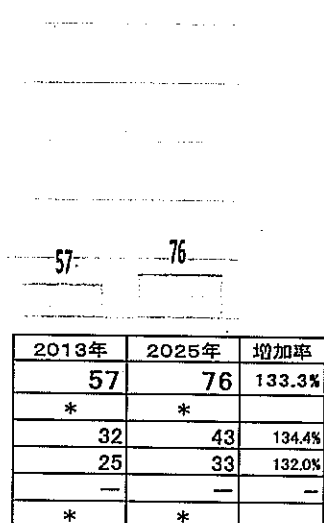
川越比企



西部



利根



北部



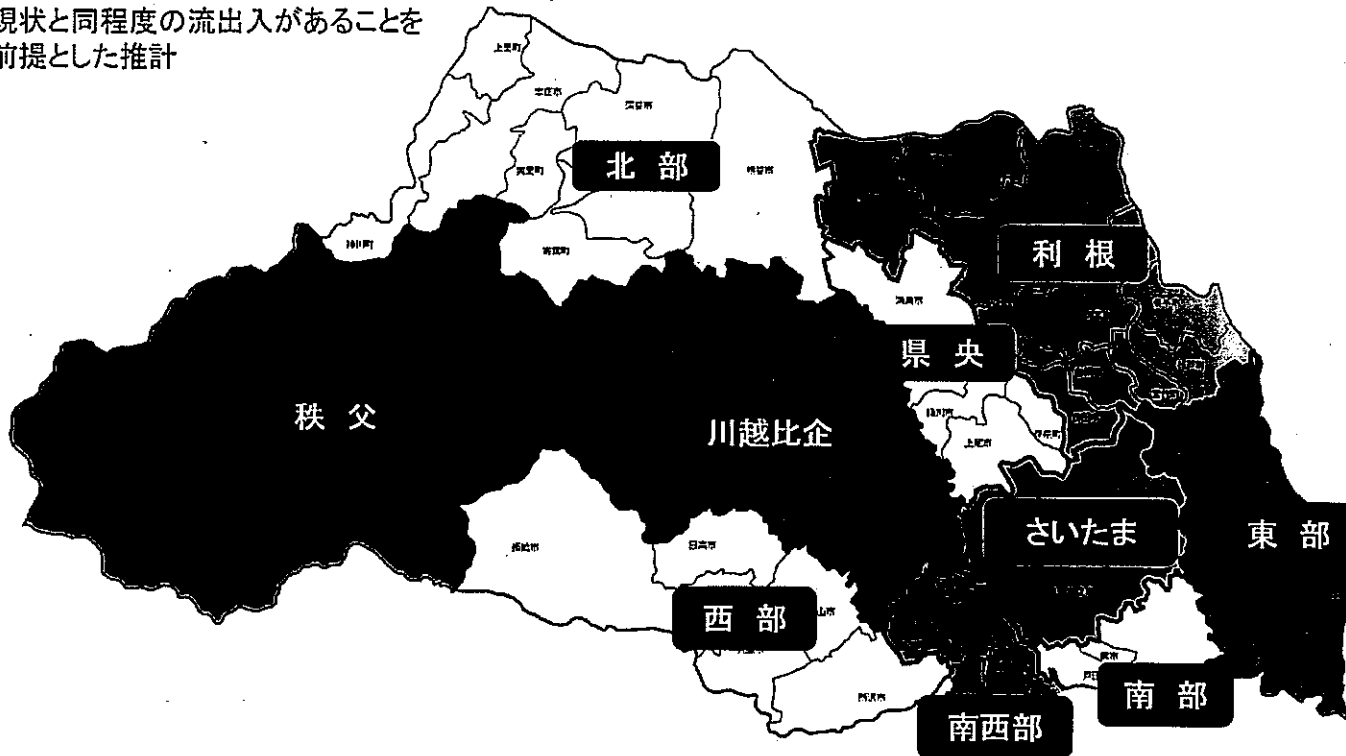
秩父

「*」は10未満につき、非公表

各二次医療圏における必要病床数の状況

資料5

現状と同程度の流出入があることを前提とした推計



- 病床が大幅に不足する圏域
高度急性期～回復期が不足
(慢性期は充足)
- 慢性期が不足
(高度急性期～回復期は充足)
- 病床が充足する圏域

【既存病床数－必要病床数推計 ≤ 100床】
の場合を【不足】とした。

13

	高度急性期～急性期～回復期			慢性期		
	2025年推計①	既存病床数 H27.3.31②	②－①	2025年推計③	既存病床数 H27.3.31④	④－③
南部	4,154	3,426	▲ 728	871	940	69
南西部	3,466	3,518	52	1,311	838	▲ 473
東部	6,348	6,019	▲ 329	2,587	1,641	▲ 946
さいたま	6,110	6,431	321	1,554	1,332	▲ 222
県央	2,737	2,489	▲ 248	797	769	▲ 28
川越比企	5,580	4,857	▲ 723	2,072	1,919	▲ 153
西部	5,313	4,771	▲ 542	2,638	2,595	▲ 43
利根	3,454	3,415	▲ 39	1,176	669	▲ 507
北部	2,651	2,643	▲ 8	791	919	128
秩父	386	460	74	214	297	83
合計	40,199	38,029	▲ 2,170	14,011	11,919	▲ 2,092

※不足病床数は現在実施している公募等、今後の病床整備の状況により変動する。

※2025年の推計は、厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」による

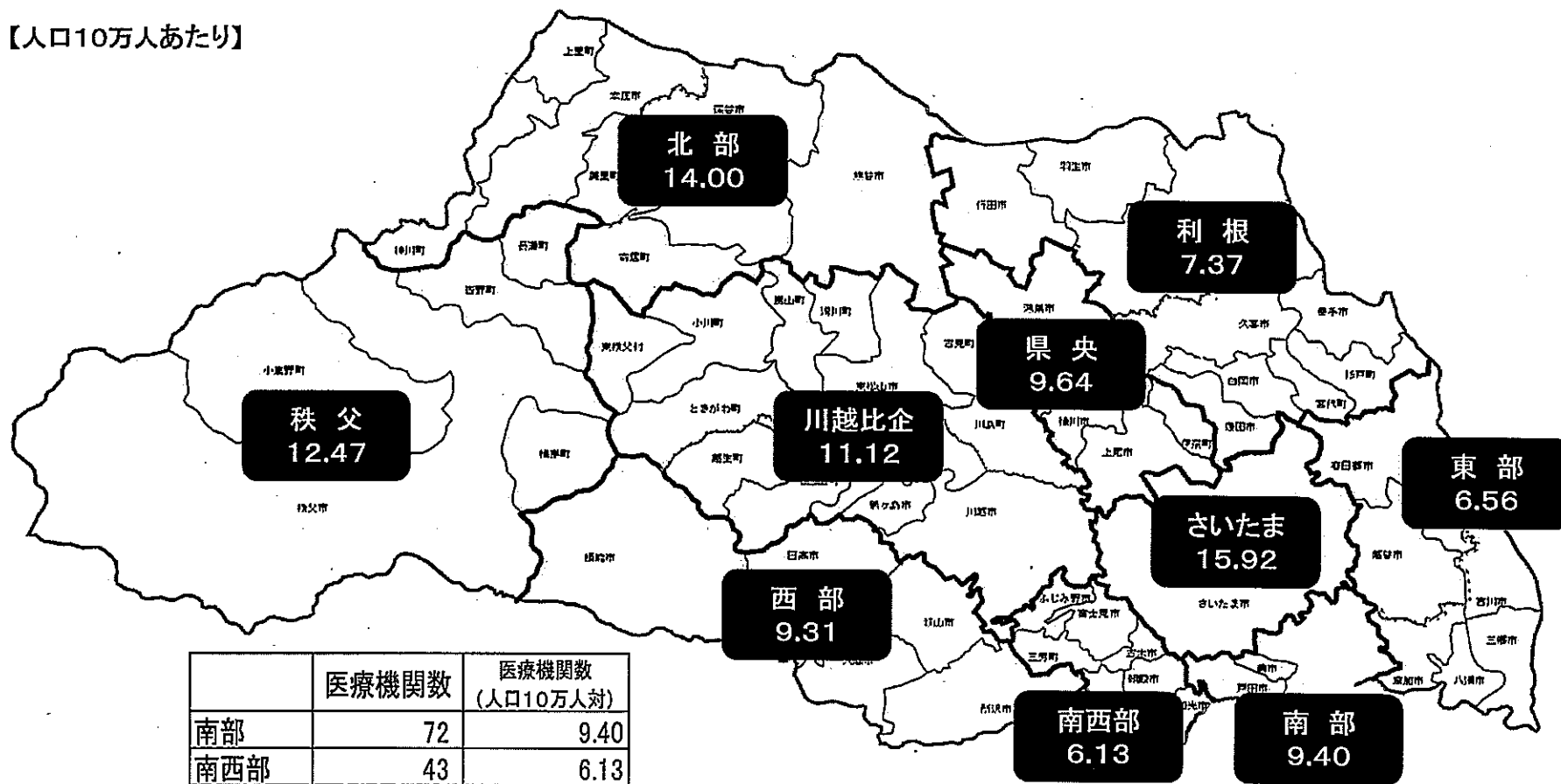
※既存病床は一般と療養の2区分となっているので、便宜上以下のとおり分けた。

- ・一般病床＝高度急性期～回復期
- ・療養病床＝慢性期

各二次医療圏における在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所 及び在宅時医学総合管理料の届出医療機関数

資料6

【人口10万人あたり】



	医療機関数	医療機関数 (人口10万人対)
南部	72	9.40
南西部	43	6.13
東部	74	6.56
さいたま	198	15.92
県央	51	9.64
川越比企	89	11.12
西部	73	9.31
利根	48	7.37
北部	72	14.00
秩父	13	12.47

※関東信越厚生局「施設基準届出受理機関名簿」(平成27年4月1日現在)
 ※人口は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月)

各圏域における検討の進め方について

1 各圏域での検討体制

現在、各医療圏の医療計画などを協議している「地域保健医療協議会」を活用して検討を進める。

- ・現在の委員構成では回復期、慢性期を担う医療機関が入っていない圏域が多く見られる。切れ目のない連携体制を検討するため当該機能を担っている医療機関の代表者の参加を求める。
- ・また、看護協会、保険者協議会に対しても参加を求める。

*地域保健医療協議会

・設置目的

二次医療圏単位での地域保健医療計画の推進

・事務局

保健所

・主な構成員（現行）

郡市医師会
郡市歯科医師会
地域薬剤師会
拠点病院の長（主に急性期）
母子愛育会
市町村



- ・回復期、慢性期を担う病院
- ・看護協会
- ・保険者協議会

南部保健医療圏地域保健医療協議会委員名簿

平成27年4月1日

	氏名	所属団体及び役職名等	備考
委員	徳竹 英一	川口市医師会長	
"	金子 健二	盛戸田市医師会長	
"	中村 勝文	川口歯科医師会長	
"	金子 直司	盛戸田歯科医師会長	
"	小寺 慶二	川口薬剤師副会長	
"	藤井 源三	盛市薬剤師会長	
"	亀井 雄幸	戸田市薬剤師会長	
"	栃木 武一	川口市立医療センター病院事業管理者	
"	原澤 茂	済生会川口総合病院長	
"	原田 容治	戸田中央総合病院長	
"	井口 喬	戸田病院長	
"	植田富美子	盛市母子愛育会会長	
"	榎本美知子	川口市食生活改善推進員協議会事業部長	
"	飯田 明子	川口市健康増進部長	H27.4～
"	関 久徳	盛市健康福祉部長	H27.4～
"	松山 由紀	戸田市福祉部長	
"	淺川 共子	南部地域振興センター所長	
"	篠崎 誠	南児童相談所長	H27.4～
"	田中 義枝	川口保健所長	

2 各構想区域における検討に当たっての主な論点

ポイント

- ・急性期、回復期、慢性期の機能についてはできるだけ区域内で対応する
- ・将来の需要増を見据えて効率的な医療提供体制を構築する
- ・地域の現状、将来の体制整備の方向性についての関係者の合意を図る。

【各圏域共通】

(1) 病院の新設・増床（病床不足が見込まれる地域）

- ・圏域内で特に不足が見込まれる機能は何か（急性期・回復期・慢性期）
- ・それをどのように整備するか

（例）既存の医療機関による増床、病院の誘致など

増床等は将来不足が見込まれる機能であること。また、スタッフの確保を含めて現時点での見通しを議論する必要がある。

なお、病床の整備など受入体制の整備は困難として、他の圏域に受入を依頼することも考えられる。

この場合、必要な病床数を受入先医療圏に加算する。

(2) 地域の实情に合った医療機能分化・連携体制の確立

- ・「病病連携」、「病診連携」など地域の医療連携体制、がん、脳卒中、急性心筋梗塞など疾患別連携体制の現状はどうか
- ・地域における各医療機関の役割分担を相互に理解しているか
- ・例えば、急性期を担っている病院が回復期などに機能を転換する場合の障壁は何か

(3) 在宅医療（老健等を含む）の体制整備

- ・訪問診療、看取り、急変時の受入等の現状はどうか
- ・訪問診療を担う医療機関をどのように拡充するか
- ・老健など介護施設の整備の見通しはどうか

【圏域特有の課題】

〈例〉

東部医療圏：病病連携、病診連携の拠点となる地域医療支援病院の整備についてどのように考えるか

圏域別医療需要と必要病床数の試算値

＜各圏域で実際に提供された医療＞

圏域別	医療需要					2013年				
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	圏域計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	圏域計
南部	391	1,167	1,055	655	3,268	521	1,496	1,172	712	3,901
南西部	247	939	806	896	2,888	329	1,204	896	973	3,402
栗部	501	1,595	1,711	1,609	5,416	668	2,045	1,901	1,748	6,362
さいたま	698	1,634	1,445	1,081	4,858	930	2,095	1,605	1,175	5,805
栗央	209	759	734	656	2,358	278	973	816	713	2,780
川越比企	561	1,366	1,623	1,843	5,393	749	1,752	1,804	2,003	6,308
西部	434	1,305	1,467	2,246	5,452	578	1,674	1,630	2,441	6,323
利根	265	925	941	899	3,030	353	1,186	1,046	978	3,563
北部	214	806	765	826	2,611	285	1,033	850	898	3,066
秩父	23	129	154	231	537	30	166	171	251	618
機能計	3,543	10,625	10,701	10,942	35,811	4,721	13,624	11,891	11,892	42,128

＜現状と同程度の割合で患者の流入があるとした場合＞

圏域別	医療需要					2025年				
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	圏域計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	圏域計
南部	457	1,499	1,460	801	4,217	609	1,922	1,623	871	5,025
南西部	319	1,315	1,220	1,206	4,060	425	1,685	1,356	1,311	4,777
栗部	623	2,171	2,461	2,380	7,635	831	2,783	2,734	2,587	8,935
さいたま	779	2,161	2,071	1,430	6,441	1,039	2,770	2,301	1,554	7,664
栗央	258	993	1,008	733	2,992	344	1,273	1,120	797	3,534
川越比企	601	1,763	2,266	1,906	6,536	802	2,260	2,518	2,072	7,652
西部	520	1,755	2,133	2,427	6,835	694	2,249	2,370	2,638	7,951
利根	319	1,233	1,303	1,082	3,937	426	1,580	1,448	1,176	4,630
北部	245	981	959	728	2,913	327	1,258	1,066	791	3,442
秩父	24	136	163	197	520	31	174	181	214	600
機能計	4,145	14,007	15,044	12,890	46,086	5,528	17,954	16,717	14,011	54,210

＜圏域内の患者をすべて圏域内で受け入れるとした場合＞

圏域別	医療需要					2025年				
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	圏域計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	圏域計
南部	557	1,636	1,541	956	4,690	743	2,097	1,712	1,039	5,591
南西部	476	1,571	1,557	1,375	4,979	635	2,015	1,730	1,494	5,874
栗部	768	2,423	2,425	2,376	7,992	1,024	3,106	2,695	2,582	9,407
さいたま	802	2,401	2,453	1,700	7,356	1,069	3,078	2,726	1,847	8,720
栗央	337	1,127	1,082	744	3,290	450	1,445	1,203	809	3,907
川越比企	528	1,687	2,070	1,486	5,771	703	2,163	2,300	1,615	6,781
西部	485	1,697	2,048	1,695	5,925	647	2,176	2,276	1,842	6,941
利根	449	1,474	1,501	1,099	4,523	599	1,890	1,668	1,195	5,352
北部	335	1,153	1,166	710	3,364	447	1,478	1,296	772	3,993
秩父	61	200	216	205	682	81	256	240	222	799
機能計	4,798	15,369	16,059	12,346	48,572	6,398	19,704	17,846	13,417	57,365

平成26年度 病床機能報告制度による報告結果

圏域	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	圏域計
南部	1,025	2,109	262	939	34	4,369
南西部	528	2,018	172	1,076	8	3,802
東部	160	4,460	819	1,830	170	7,439
さいたま	1,648	3,399	360	1,431	54	6,892
県央	495	1,630	185	947	19	3,276
川越比企	1,771	2,705	729	1,763	9	6,977
西部	1,478	2,532	544	2,577	101	7,232
利根	34	2,742	300	1,186	117	4,379
北部	597	2,002	277	954	38	3,868
秩父	0	395	54	364	15	828
機能計	7,736	23,992	3,702	13,067	565	49,062

※各医療機能の定義

- ・高度急性期:急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
- ・急性期:急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
- ・回復期:急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを集中的に提供する機能を特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能(回復期リハビリテーション機能)
- ・慢性期:長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能
長期にわたり療養が必要な患者(重度の意識障害を含む)、難病患者等を入院させる機能

入院患者の流出入推計表【埼玉県⇄近隣都県】

【2013年】

	流入 ①			流出 ②			流出入の差 ①-②			人/日	
	高度急性期	急性期	回復期	高度急性期	急性期	回復期	高度急性期	急性期	回復期		
東京都	51	196	311	406	1016	865	▲355	▲820	▲554	563	▲1166
千葉県	0	17	99	33	79	71	▲33	▲62	28	4	▲63
群馬県	0	0	12	67	193	211	▲67	▲193	▲199	▲47	▲506
栃木県	0	0	0	0	16	20	▲16	▲16	▲20	0	▲36
茨城県	0	11	0	0	33	25	▲22	▲22	▲25	2	▲45

▲は流出超過

人/日

【2025年】

	流入 ①			流出 ②			流出入の差 ①-②			人/日	
	高度急性期	急性期	回復期	高度急性期	急性期	回復期	高度急性期	急性期	回復期		
東京都	150	474	646	642	1407	1329	▲492	▲933	▲683	555	▲1553
千葉県	20	51	172	58	158	152	▲38	▲107	20	13	▲112
群馬県	13	36	41	94	258	296	▲81	▲222	▲255	▲75	▲633
栃木県	10未満	11	13	16	42	48	▲16	▲31	▲35	▲7	▲89
茨城県	11	30	29	15	61	51	▲4	▲31	▲22	9	▲48

▲は流出超過

人/日

入院患者の流出入状況(圏域別・2013年)

※「*」は10未満(国の基準により、非公表)
※「▲」は10未満(国の基準により、非公表)

① ②	【南部】										流出超過		
	高尾	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父		県外	合計
流入	307	*	14	42	*	*	*	*	*	*	*	363	
流出	947	*	32	115	*	*	*	*	*	*	15	1,109	
①	947	*	32	129	*	*	*	*	*	*	17	992	
②	511	*	35	45	*	*	*	*	*	*	0	620	
合計	2,579	*	113	331	*	*	*	*	*	*	61	3,084	
流出超過	307	*	12	27	*	*	*	*	*	0	97	443	
①	947	*	31	43	*	*	*	*	*	0	213	1,234	
②	814	*	46	34	*	*	*	*	*	0	179	1,073	
合計	511	*	38	38	*	*	*	*	*	15	79	765	
流出超過	2,579	*	127	142	10	46	17	11	15	568	3,515	28.6%	
①	高尾総住居		2	15							▲97	▲80	
②	高尾総住居		1	72							▲199	▲125	
①	高尾総住居		▲14	95							▲162	▲81	
②	高尾総住居		▲3	7	▲10	▲46	▲17	▲11	▲15		▲50	▲145	
合計			▲14	189	▲10	▲46	▲17	▲11	▲15		▲507	▲431	

① ②	【新西部】										流出超過	
	高尾	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父		県外
流入	191	*	*	*	*	*	*	*	*	*	25	216
流出	751	*	18	16	*	27	15	*	*	95	904	
①	612	*	18	36	*	36	21	*	*	82	769	
②	609	*	36	36	*	75	35	*	*	82	837	
合計	2,163	*	70	70	*	138	71	*	*	284	2,726	
流出超過	191	*	10	10	*	49	15	*	*	103	368	
①	751	*	15	15	*	90	36	*	*	224	1,116	
②	612	*	14	14	*	84	59	*	*	225	994	
合計	609	*	*	*	*	88	121	*	*	103	921	
流出超過	* 2,163	*	39	39	*	311	231	*	*	655	3,399	
①	高尾総住居		▲10		▲49	▲15				▲78	▲152	
②	高尾総住居		1	4	▲63	▲21				▲129	▲212	
①	高尾総住居		4	36	▲48	▲38				▲143	▲225	
②	高尾総住居		37	31	▲13	▲86				▲21	▲84	
合計			37	31	▲173	▲160				▲371	▲673	

① ②	【東部】										流出超過	
	高尾	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父		県外
流入	12	*	411	17	*	*	*	23	*	15	478	
流出	31	*	1,346	50	*	*	*	60	*	63	1,550	
①	46	*	1,257	65	*	*	*	79	*	198	1,645	
②	38	*	1,210	56	*	*	*	54	*	173	1,531	
合計	127	*	4,224	188	*	*	*	216	*	449	5,204	
流出超過	14	*	411	47	*	*	*	18	*	123	595	
①	32	*	1,346	29	*	*	*	25	*	304	1,729	
②	32	*	1,257	25	*	*	*	25	*	269	1,608	
合計	35	*	1,210	37	*	*	*	44	15	93	1,472	
流出超過	113	*	4,224	138	*	*	*	87	15	789	5,404	
①	高尾総住居		▲2	▲30				23		▲108	▲117	
②	高尾総住居		▲1	21				42		▲241	▲179	
①	高尾総住居		14	40				54		▲71	▲37	
②	高尾総住居		3	19				10		▲80	▲59	
合計			14	50				129		▲340	▲200	

① ②	【さいたま】										流出超過	
	高尾	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父		県外
流入	27	10	47	444	59	11	*	50	*	*	648	
流出	43	15	29	1,298	104	12	*	64	*	10	1,575	
①	34	14	24	1,166	82	12	*	48	*	11	1,391	
②	38	*	37	761	77	26	*	45	*	0	1,002	
合計	142	39	137	3,669	322	61	*	207	*	39	4,616	
流出超過	42	*	17	444	23	27	*	*	*	63	616	
①	115	16	50	1,298	67	37	13	29	*	131	1,756	
②	129	18	65	1,166	84	40	17	45	17	98	1,679	
合計	45	36	56	761	85	91	34	54	22	17	1,201	
流出超過	331	70	188	3,669	259	195	64	128	39	309	5,252	
①	高尾総住居		▲15	▲10	30			37		▲63	▲32	
②	高尾総住居		▲72	▲1	▲21			▲2		▲121	▲181	
①	高尾総住居		▲95	▲4	▲41			▲2		▲87	▲288	
②	高尾総住居		▲7	▲36	▲19			▲8		▲65	▲199	
合計			▲189	▲37	▲51			63		▲134	▲64	

【県央】		南	南西部	東	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外	合計
流入①	高度急性期	*	*	*	23	144	*	*	23	*	*	*	190
	急性期	*	*	*	67	548	17	*	75	11	*	*	718
	回復期	*	*	*	84	502	19	*	77	10	*	*	692
	慢性期	10	*	*	85	402	23	*	77	17	*	*	614
	合計	10	*	*	259	1,596	59	*	252	38	*	*	2,214
流出②	高度急性期	*	*	*	59	144	30	*	17	*	*	*	250
	急性期	*	*	*	104	548	45	*	60	20	*	*	793
	回復期	*	*	*	82	502	49	*	53	16	*	*	713
	慢性期	*	*	*	77	402	73	*	54	17	*	*	623
	合計	*	*	*	322	1,596	197	*	184	53	*	*	2,379
①	高度急性期				▲36	▲30	▲30		6				▲60
	急性期				▲37	▲28	▲28		15	▲9			▲75
	回復期				2	▲30	▲30		24	▲6			▲21
	慢性期				8	▲50	▲50		23				▲9
②	合計				▲63	▲138	▲138		68	▲15			▲227
	流出超過												▲165

【川越比企】		南	南西部	東	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外	合計
流入①	高度急性期	*	49	*	27	30	300	59	17	33	15	*	530
	急性期	*	90	*	37	45	934	103	16	64	24	*	1,313
	回復期	*	84	*	40	49	1,159	115	14	72	19	15	1,567
	慢性期	46	88	28	91	73	1,068	99	41	60	*	169	1,763
	合計	46	311	28	195	197	3,461	376	88	229	58	184	5,173
流出②	高度急性期	*	*	*	11	*	300	87	*	12	*	*	410
	急性期	*	27	*	12	17	934	180	*	31	*	44	1,245
	回復期	*	36	*	12	19	1,159	129	*	25	*	25	1,405
	慢性期	*	75	*	26	23	1,068	134	15	41	*	*	1,382
	合計	*	138	*	61	59	3,461	530	15	109	*	69	4,442
①	高度急性期		49		16	30	▲28	▲28	17	21	15		120
	急性期		69		25	28	▲77	▲77	16	33	24	▲44	68
	回復期		49		28	30	▲14	▲14	14	47	19	▲10	162
	慢性期		46	13	29	50	▲35	▲26	19	19	169	381	731
②	合計		46	173	28	138	▲154	▲73	73	120	58	115	731
	流入超過												▲120

【西秩】		南	南西部	東	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外	合計
流入①	高度急性期	*	15	*	*	*	87	253	*	11	12	11	389
	急性期	*	36	*	13	*	180	927	*	17	19	30	1,222
	回復期	*	59	*	17	*	129	1,068	*	11	15	88	1,387
	慢性期	17	121	10	34	*	134	1,267	*	*	*	526	2,109
	合計	17	231	10	64	0	530	3,515	*	39	46	655	5,107
流出②	高度急性期	*	*	*	*	*	59	253	*	*	*	40	352
	急性期	*	15	*	*	*	103	927	*	*	*	128	1,173
	回復期	*	21	*	*	*	115	1,068	*	*	*	112	1,316
	慢性期	*	35	*	*	*	99	1,267	*	*	*	148	1,549
	合計	*	71	*	*	*	376	3,515	*	*	*	428	4,390
①	高度急性期		15				28			11	12	▲29	37
	急性期		21		13		77			17	19	▲98	49
	回復期		38		17		14			11	15	▲24	71
	慢性期		17	86	10	34	35					378	560
②	合計		17	160	10	64	154			39	46	227	717
	流入超過												▲227

【利根】		南	南西部	東	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外	合計
流入①	高度急性期	*	*	*	*	17	*	*	213	*	*	*	230
	急性期	*	*	18	29	60	*	*	756	13	*	11	887
	回復期	*	*	25	45	53	*	*	745	13	*	12	893
	慢性期	11	*	44	54	54	15	*	580	15	*	40	813
	合計	11	*	87	128	184	15	*	2,294	41	*	63	2,823
流出②	高度急性期	*	*	23	50	23	17	*	213	16	*	12	354
	急性期	*	*	60	64	75	16	*	756	47	*	107	1,125
	回復期	*	*	79	48	77	14	*	745	47	*	84	1,094
	慢性期	*	*	54	45	77	41	*	580	24	*	26	847
	合計	*	*	216	207	252	88	*	2,294	134	*	229	3,420
①	高度急性期			▲23	▲50	▲6	▲17		▲16			▲12	▲124
	急性期			▲42	▲35	▲15	▲16		▲34			▲96	▲238
	回復期			▲54	▲3	▲24	▲14		▲34			▲72	▲201
	慢性期			▲10	9	▲23	▲26		▲9			▲14	▲34
②	合計			▲129	▲79	▲68	▲73		▲93			▲166	▲597
	流出超過												▲597

【北群】		南	南西	東	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外	合計	流出率
高度急住期	*	*	*	*	*	*	12	*	16	158	*	*	186	
急住期	*	*	*	*	*	*	20	*	47	648	20	*	766	
回復期	*	*	*	*	*	*	17	*	47	612	16	*	733	
留住期	15	*	15	15	22	17	41	*	24	611	*	12	757	
合計	15	*	15	15	39	53	109	*	134	2,029	36	12	2,442	41.2%
高度急住期	*	*	*	*	*	*	33	11	*	158	*	67	269	29.9%
急住期	*	*	*	*	*	*	64	17	13	648	*	171	924	32.6%
回復期	*	*	*	*	*	*	72	11	13	612	*	190	908	19.9%
留住期	*	*	*	*	*	*	60	*	15	611	*	59	762	29.1%
合計	*	*	*	*	*	38	229	39	41	2,029	*	487	2,863	
高度急住期							▲21	▲11	16			▲67	▲83	
急住期						9	▲33	▲17	34		20	▲171	▲158	
回復期				17		6	▲47	▲11	34		16	▲190	▲175	
留住期	15		15	22		▲19	▲19		9			▲47	▲5	
合計	15		15	39	15	▲120	▲39	93			36	▲475	▲421	流出超過

【秩父】		南	南西	東	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外	合計	流出率
高度急住期	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	21	*	21	56.3%
急住期	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	123	*	123	33.9%
回復期	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	148	*	148	25.3%
留住期	*	0	0	*	*	*	*	*	*	*	217	*	217	0.0%
合計	*	*	*	*	*	58	58	46	*	36	509	*	649	21.6%
高度急住期							▲15	▲12					▲27	
急住期							▲24	▲19		▲20			▲63	
回復期							▲19	▲15		▲16			▲50	
留住期													0	
合計							▲58	▲46		▲36			▲140	流出超過

入院患者の流出入状況(圏域別・2025年)

※「*」は10未満(国の基準により、非公開)
※合計値については「*」を0としてお示しする。

【南前】	圏域										合計	流出超過		
	南前	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父			県外	
流入	363	*	15	50	*	*	*	*	*	*	*	*	428	
流出	1,219	*	44	150	*	*	*	*	*	*	*	*	2,019	
①	1,140	12	48	171	*	*	*	*	*	*	*	*	1,406	
②	615	*	57	63	*	*	*	*	*	*	*	*	764	
合計	3,337	12	164	434	*	*	*	*	*	*	*	*	4,031	流出率
急住期	363	*	14	28	*	*	*	*	*	*	*	*	520	30.2%
回復期	1,219	*	37	54	*	*	*	*	*	*	*	*	1,555	21.6%
留住期	1,140	*	58	46	*	*	*	*	*	*	*	*	1,457	21.8%
留住期	615	10	48	42	*	*	*	*	*	*	*	*	870	29.3%
合計	3,337	10	157	170	*	*	*	*	*	*	*	*	4,402	24.2%
急住期			1	22									115	▲92
回復期			7	96									225	▲122
留住期			▲10	125									▲178	▲51
留住期			▲10	9	21								▲51	▲106
合計			2	264									▲569	▲371
														流出超過

【南西部】	圏域										合計	流出超過		
	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外				
流入	250	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	282	
流出	1,064	*	19	20	*	*	*	*	*	*	*	*	1,273	
①	962	*	20	*	*	50	34	*	*	*	*	*	1,177	
②	10	880	*	44	*	90	38	*	*	*	*	*	92	1,154
合計	10	3,156	*	83	*	178	94	*	*	*	*	*	365	3,886
急住期	*	250	*	10	*	51	17	*	*	*	*	*	115	443
回復期	*	1,064	*	19	*	118	42	*	*	*	*	*	269	1,512
留住期	*	962	*	20	*	116	84	*	*	*	*	*	304	1,497
留住期	*	880	*	*	*	121	154	*	*	*	*	*	138	1,306
合計	12	3,156	*	48	*	406	297	13	*	*	*	*	826	4,758
急住期				▲10		▲51	▲17						▲83	▲161
回復期				1		▲80	▲20						▲139	▲239
留住期				44		▲66	▲50						▲193	▲320
留住期				35		▲31	▲116						▲46	▲152
合計				2		▲228	▲203						▲461	▲872
														流出超過

【東前】	圏域										合計	流出超過		
	東前	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父			県外	
流入	14	*	523	20	*	*	*	*	*	*	*	*	599	
流出	37	*	1,876	61	*	*	*	*	*	*	*	*	2,117	
①	58	*	1,893	79	*	*	*	*	*	*	*	*	2,391	
②	48	*	1,922	67	*	*	*	*	*	*	*	*	189	2,285
合計	157	*	6,214	227	*	*	*	*	*	*	*	*	550	7,392
急住期	15	*	523	40	*	*	*	*	*	*	*	*	135	713
回復期	44	*	1,876	35	*	*	*	*	*	*	*	*	367	2,348
留住期	48	*	1,922	33	*	*	*	*	*	*	*	*	341	2,352
留住期	57	*	1,922	47	*	*	*	*	*	*	*	*	148	2,282
合計	164	*	6,214	155	*	*	*	*	*	*	*	*	991	7,695
急住期	▲7			▲20									▲118	▲114
回復期	▲7			26									▲291	▲231
留住期	▲10			46									▲79	39
留住期	▲9			20									▲41	3
合計				72									▲441	▲303
														流出超過

【さいたま市】	圏域										合計	流出超過		
	南前	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父			県外	
流入	28	10	40	538	61	*	*	45	*	*	*	*	722	
流出	54	19	35	1,744	139	14	*	71	*	*	*	*	2,091	
①	46	19	33	1,702	118	16	*	53	*	*	*	*	2,003	
②	42	*	47	1,075	93	27	*	50	*	*	*	*	0	19
合計	170	48	155	5,059	411	57	*	219	*	*	*	*	50	6,169
急住期	50	*	20	538	27	25	*	10	*	*	*	*	68	738
回復期	150	19	61	1,744	81	42	*	41	*	*	*	*	147	2,298
留住期	171	20	79	1,702	104	43	*	58	*	*	*	*	123	2,334
留住期	63	44	67	1,075	105	105	39	66	18	*	*	*	34	1,616
合計	434	83	227	5,059	317	215	70	175	34	*	*	*	372	6,986
急住期	▲22		10		34	▲25		35					▲68	▲16
回復期	▲96		▲26		58	▲28	▲13	30					▲132	▲207
留住期	▲125		▲7		14	▲27	▲18	▲5	▲16				▲107	▲331
留住期	▲21		▲44		▲12	▲78	▲39	▲16	▲18				▲15	▲263
合計	▲264		▲35		94	▲158	▲70	44	▲34				▲322	▲817
														流出超過

【興央】		南	南西	東	古川	興央	川越	西	利根	北	秩父	興外	合計	流出率
高度急進期	*	*	*	*	27	184	*	*	26	*	*	*	237	
急進期	*	*	*	*	81	742	21	*	89	12	*	*	945	
回復期	*	*	*	*	104	729	23	*	93	12	*	*	961	
後進期	*	*	*	*	105	458	20	*	88	13	*	*	684	
合計	*	*	*	*	317	2,113	64	*	296	37	*	*	2,827	流出率
高度急進期	*	*	*	*	61	184	28	*	23	*	*	*	296	37.8%
急進期	*	*	*	*	139	742	51	*	94	27	*	*	1,069	30.6%
回復期	*	*	*	*	118	729	61	*	82	20	*	*	1,022	28.7%
後進期	*	*	*	*	93	458	84	*	59	14	*	*	708	35.3%
合計	*	*	*	*	411	2,113	224	*	258	61	*	*	3,095	31.7%
高度急進期					▲34	▲28	▲3		▲5	▲15		▲16	▲59	
急進期					▲58	▲30	▲5		▲11	▲8		▲12	▲124	
回復期					▲14	▲38	▲1		▲29	▲1		▲24	▲61	
後進期					▲94	▲160	▲38		▲24	▲24		▲28	▲268	
合計					▲94	▲160	▲38		▲24	▲24		▲28	▲268	流出超過

【川越比企】		南	南西	東	古川	興央	川越比企	西	利根	北	秩父	興外	合計	流出率
高度急進期	*	51	*	*	25	28	351	58	15	32	12	*	572	
急進期	*	118	*	*	42	51	1,263	119	16	71	21	11	1,712	
回復期	*	116	*	*	43	61	1,697	148	15	82	17	20	2,199	
後進期	45	121	30	105	84	84	1,099	89	40	53	*	153	1,809	
合計	45	406	30	215	*	*	4,400	414	86	238	50	184	6,292	流出率
高度急進期	*	38	*	*	14	21	1,263	217	*	15	10	*	475	26.1%
急進期	*	50	*	*	16	23	1,697	158	*	37	*	28	2,009	15.5%
回復期	*	90	*	*	27	20	1,099	145	13	35	*	*	1,419	23.3%
後進期	*	178	*	*	57	64	4,400	619	13	129	*	84	5,544	20.6%
合計		57			25	28		▲41	15	17	12	▲10	97	
高度急進期		80			28	30		▲98	16	29	21	▲35	71	
急進期		66			27	38		▲10	15	45	17	▲8	190	
回復期		45			31	30		▲56	27	18	18	153	380	
後進期		45			31	30		▲56	27	18	18	153	380	
合計		228			158	160		▲205	73	109	50	100	748	流出超過

【西郡】		南	南西	東	古川	興央	川越比企	西	利根	北	秩父	興外	合計	流出率
高度急進期	*	17	*	*	*	*	99	322	*	12	11	13	474	
急進期	*	42	*	*	13	*	217	1,315	10	18	18	60	1,693	
回復期	*	84	*	*	18	*	158	1,642	*	11	14	123	2,050	
後進期	17	154	10	39	*	*	145	1,373	*	*	*	555	2,293	
合計	17	297	10	70	*	*	619	4,652	10	41	43	751	6,510	流出率
高度急進期	*	22	*	*	*	*	58	322	*	*	*	45	425	24.2%
急進期	*	34	*	*	*	*	119	1,315	*	*	*	177	1,633	19.5%
回復期	*	34	*	*	*	*	148	1,642	*	*	*	156	1,980	17.1%
後進期	*	38	*	*	*	*	89	1,373	*	*	*	128	1,628	15.7%
合計	*	94	*	*	*	*	414	4,652	*	*	*	506	5,666	17.9%
高度急進期		17			13		41			12	11	▲32	49	
急進期		20			18		98		10	18	18	▲117	60	
回復期		50			18		10			11	14	▲33	70	
後進期		17			10		56			41	43	427	665	
合計		17			203		205		10	41	43	245	844	流入超過

【利根】		南	南西	東	古川	興央	川越比企	西	利根	北	秩父	興外	合計	流出率
高度急進期	*	*	*	*	10	23	*	*	255	*	*	*	288	
急進期	*	*	*	*	26	41	94	*	997	16	*	26	1,200	
回復期	*	*	*	*	37	58	82	*	1,039	15	*	26	1,257	
後進期	*	13	56	66	59	59	13	*	728	13	*	51	999	
合計	*	13	119	175	258	13	*	3,019	44	44	*	103	3,744	流出率
高度急進期	*	*	25	45	26	15	*	255	17	*	*	12	395	35.4%
急進期	*	*	67	71	89	16	10	997	56	*	*	121	1,427	30.1%
回復期	*	*	93	53	93	15	*	1,039	56	*	*	98	1,447	28.2%
後進期	*	*	59	50	88	40	*	728	25	*	*	30	1,020	28.6%
合計	*	*	244	219	296	86	10	3,019	154	*	*	261	4,289	29.6%
高度急進期			▲25	▲35	▲3	▲15			▲17			▲12	▲107	
急進期			▲41	▲30	5	▲16	▲10		▲40			▲95	▲227	
回復期			▲56	5	▲11	▲15			▲41			▲72	▲190	
後進期			▲3	16	▲29	▲27			▲12			21	▲21	
合計			▲125	▲44	▲38	▲73	▲10		▲110			▲158	▲545	流出超過

【北部】												
	前部	前西部	東部	土佐支	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外	合計
流出	*	*	*	*	*	15	*	17	184	*	*	216
流入	*	*	*	*	*	27	*	56	793	19	*	937
①	*	*	*	*	*	16	*	56	777	15	*	921
②	13	*	12	18	14	35	*	25	538	*	12	667
合計	13	*	12	34	61	129	*	154	2,292	34	12	2,741
流出	*	*	*	*	*	32	12	54	184	*	71	299
流入	*	*	*	*	*	12	18	16	793	*	193	1,103
①	*	*	*	*	*	82	11	15	777	*	224	1,121
②	*	*	*	*	*	53	*	13	538	*	56	673
合計	*	*	*	*	*	238	41	44	2,292	*	544	3,196
流出						▲17	▲12	17			▲71	▲83
流入						▲29	▲18	40			▲193	▲166
①						8	▲11	41			▲224	▲200
②						▲18		12			▲44	▲6
合計	13		12	18	1	▲18	▲41	110		34	▲532	▲455
流出超過												

【秩父】												
	前部	前西部	東部	土佐支	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	県外	合計
流出	0	*	*	*	*	*	*	*	*	22	*	22
流入	0	*	*	*	*	*	*	*	*	129	*	129
①	0	*	*	*	*	*	*	*	*	156	*	156
②	0	0	0	*	*	*	*	*	*	185	*	185
合計	*	*	*	*	*	*	*	*	*	492	*	492
流出	*	*	*	*	*	12	11	*	*	22	*	45
流入	*	*	*	*	*	21	18	*	19	129	*	187
①	*	*	*	*	*	17	14	*	15	156	*	202
②	0	0	*	0	*	*	*	*	*	185	*	185
合計	*	*	*	*	*	50	43	*	34	492	*	619
流出						▲12	▲11					▲23
流入						▲21	▲18		▲19			▲58
①						▲17	▲14		▲15			▲46
②												0
合計						▲50	▲43		▲34			▲127
流出超過												